

ユーザーズガイド

6.2V 型ワイド VGA モニター / Bluetooth / USB / チューナー・DSP メインユニット

SPH-DA700

はじめに

基本操作

Apple CarPlay

ラジオ

USBメモリー

iPod

Bluetooth Audio

ハンズフリー

外部機器

バックカメラ



設定

付録




安全上のご注意 (安全にお使いいただくために必ずお守りください)

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

 警告	「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」です。
 注意	「人が軽傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」です。


■ お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

 注意 (警告を含む) しなければならない内容です。	 必ず行っていただく強制の内容です。
 禁止 (やってはいけないこと) の内容です。	

AV-001-002

接続・取り付け

警告

 **禁止**

本機は、DC12V \oplus アース車専用です。24V車で使用しないでください。火災や故障の原因となります。


エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に取り付けと配線をしない
エアバッグ装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してください。エアバッグが誤動作し、死亡事故の原因となります。

前方視界や運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には絶対に取り付けない
交通事故やケガの原因となります。


電源コードの被覆を切って、ほかの機器の電源を取らない
電源コードの電流容量がオーバーすると、火災や感電、故障の原因となります。

取り付けには保安部品 (ステアリング、ブレーキ、タンクなど) のボルトやナットは絶対に使用しない
これらを使用すると、制動不能や発火、交通事故の原因となります。

警告

 **禁止**

アンテナは、保安基準に適合しない場所に貼り付けたり、再貼り付けや汎用の両面テープで貼り付けたりしない
視界不良やアンテナがはがれて、事故の原因となります。

 **強制**

取付・配線、取付場所の変更は、安全のため必ず販売店に依頼する
取付・配線や取り外しには、専門技術と経験が必要です。誤った取り付けや配線、取り外しをした場合、車に重大な支障をきたす場合があります。また、お客様ご自身による取付・配線は、ケガの原因となります。

作業前はバッテリーの \ominus 端子を外す
 \oplus と \ominus 経路のショートにより、感電やケガの原因となります。

作業前に、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認する
車体に穴を開けて取り付けの場合は、パイプ類・タンク・電気配線などに干渉・接触しないように注意してください。また、加工部のサビ止めや浸水防止の処置を行ってください。

警告



強制

必ず付属の部品を使用し、確実に固定する

付属の部品以外を使用すると、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できず外れて運転の妨げとなり、事故やケガの原因となります。

説明書に従って接続・取り付けする
説明書に従わずに接続・取り付けを行うと、火災や故障の原因となります。

コードの被覆がない部分はテープなどで絶縁する

ショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にコードを挟み込まないよう配線する

断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

コード類は運転操作の妨げとならないように固定する

ステアリングやセレクトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと、事故の原因となります。

取り付けと配線が終わったら、電装品が元通り正常に動作するか確認する

正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、交通事故の原因となります。

ねじなどの小物部品は、乳幼児の手の届かないところに保管する

誤って飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。

注意



禁止

直射日光やヒーターの熱風が直接当たる場所に取り付けない

内部温度が上昇し、火災や故障の原因となることがあります。

アンテナやモニターを不安定なところに取り付けない

落下などの原因となることがあります。

通風口や放熱板をふさがない

内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。

コード類は絶対に途中で切断しない

コード類にはヒューズがついている場合があるため、保護回路が働かなくなり、火災の原因となることがあります。

注意



禁止

コード類の配線は、車体の高温部に接触させない

火災や感電の原因となることがあります。

製品同梱の電源リード線は、バッテリーに直接接続しない

火災や感電の原因となることがあります。電流が不足して、バッテリーから直接電源を取る場合は、専用の配線キットを使用してください。

分岐配線をしなない

ケーブルが加熱して、火災・感電の原因となることがあります。

雨が吹き込む所や水や結露、ほこり、油煙などが混入するところには取り付けない

発煙や発火、故障の原因となることがあります。



強制

コードが金属部に触れないように配線する

金属部に接触するとコードが破損して、火災や感電、故障の原因となることがあります。

アンテナやカメラは車幅や車の前後からはみ出さない場所に取り付ける
歩行者などに接触して、思わぬ事故の原因となることがあります。

アンテナコード等を車内に引き込む際は、雨水の浸入に注意する

雨水が車内に浸入すると、火災や感電の原因となることがあります。

使用方法

警告



禁止

運転者は走行中に操作をしない

前方不注意となり交通事故の原因となります。必ず安全な場所に停車してから操作してください。

運転者は運転中に画像を注視しない
前方不注意となり交通事故の原因となります。

速度を上げての後退運転や画面だけを見ながらの後退運転はしない

バックカメラの映像は広角レンズを使用しています。実際の距離と感覚が異なるので、人や物にぶつかる恐れがあります。また、必ず目視による安全確認を行いながら後退してください。カメラの死角になっている人や物にぶつかる恐れがあり、思わぬ事故の原因となります。

警告



禁止

メディア挿入口に手や指、異物を入れない

ケガや感電、火災や故障の原因となります。

液体で濡らさない

発煙・発火・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

リモコンなどを放置しない

停車した時やカーブを曲がる時に、リモコンなどが足もとに転がり、ブレーキペダルなどの下に入り込むと運転の妨げになり、交通事故の原因となります。

画面が映らない、音が出ない、音声
が割れる、歪むなどの異常・故障
状態で使用しない

思わぬ事故や火災、感電の原因となります。



接触禁止

雷が鳴り出したら、アンテナコード
や本機に触れない

落雷による感電の危険性があります。



分解禁止

分解や改造をしない

交通事故や火災、感電の原因となります。



強制

実際の交通規制に従って走行する
ナビゲーションによるルート案内のみに
従って走行すると、実際の交通規制に反す
る場合があります。交通事故の原因となります。
運転者がビデオを見るときは、必ず
停車してパーキングブレーキを
かける

ビデオは、安全のため走行中は表示されま
せん。

ヒューズを交換するときは、必ず
規定容量(アンペア)のヒューズを
使用する

規定容量を超えるヒューズを使用すると、
火災や故障の原因となります。

注意



禁止

本機は車載用以外で使用しない
発煙や発火、感電やケガの原因となること
があります。

アンプの放熱部に手を触れない

やけどの原因となることがあります。

音量は、車外の音が聞こえる程度
で使用する



強制

車外の音が聞こえない状態で運転すると、交
通事故の原因となることがあります。

電池は正しく使う

警告



強制

事故防止のため、電池は幼児の手の
届かない場所に保管する

万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに
医師の治療を受けてください。

電池の極性(⊕、⊖)に注意し、
表示通りに入れる

電池の極性を間違えると、破裂、液漏れなど
により、ケガや周囲を汚染する原因となるこ
とがあります。

電池の液漏れが発生した場合は
皮膚や衣服に付着した時は、きれいな水で洗
い流してください。目に入った時は、きれ
いな水で洗ったあと、ただちに医師にご相談
ください。

注意



禁止

電池をショートさせたり、分解・
加熱をしたり、火や水の中に入れ
ない

電池の破裂や液漏れにより、火災やケガの
原因となることがあります。

乾電池は充電しない

電池の破裂により、ケガの原因となるこ
とがあります。

指定以外の電池の使用や、新しい
電池と古い電池を混ぜて使用しない
電池の破裂、液漏れにより、ケガや周囲を汚
染する原因となることがあります。



強制

使いきった電池はすぐに交換する
液漏れにより、周囲を汚染する原因となるこ
とがあります。

リモコンは、直射日光・高温・多
湿の場所を避けて保管する

ケースの変形、内部電池の破裂や液漏れの原
因となることがあります。

異常時の問い合わせ

警告



強制

万一異常が起きた場合は、直ちに
使用を中止し、必ず販売店かサー
ビス相談窓口にご相談する

そのまま使用すると、思わぬ事故や火災、感
電の原因となります。

目次

はじめに

本書の見かた	7
本書の表記のしかた	7

基本操作

基本操作	8
ボタン操作	8
タッチ操作	8
リスト操作	9
走行中の機能制限	9
HOME画面の操作	10
HOME画面を表示する	10
AVソースを選択する	10
設定メニューを表示する	12
時計/カレンダーの表示を 設定する	13

Apple CarPlay

Apple CarPlayを利用する	14
iPhoneを接続する	14
Apple CarPlayの画面	14
運転席の位置を設定する	15

ラジオ

ラジオを聞く	16
バンドを切り換える	17
放送局を登録する	17

USBメモリー

音楽・映像・画像ファイルを 再生する	19
ファイルの種類を切り換える	20
再生するファイルを探す	21
リピート再生	21
ランダム再生	22
イコライザーカーブを 切り換える	22
サウンドレトリバーを 切り換える	23
タイムバーサーチ再生	23

ワイドモードを設定する	23
スライドショーを設定する	24
MIXTRAXを利用する	25

iPod

iPodを使う	27
シャッフル再生	28
再生スピードを設定する (ミュージックのみ)	29
iPodで操作する	29

Bluetooth Audio

Bluetooth Audioの 操作のしかた	30
Bluetooth Audio機器の登録	30
Bluetoothを設定する	30
Bluetooth Audioを再生する	31
Bluetooth Audio機器の 接続について	32

ハンズフリー

ハンズフリー通話をする	33
Bluetoothを設定する	33
ハンズフリー画面の操作	34
電話の受けかた	35
電話のかけかた	35
音声認識機能を使う	38
ハンズフリーでエコー(残響音) が気になるとき	38

外部機器

外部機器を使う	39
AV/AUX入力を使用する	39
AV/AUX端子の機器を再生する	40

バックカメラ

バックカメラを使う	41
バックカメラを使用する	41
バックカメラの映像を表示する	42
駐車アシスト線を表示する	42

設定







設定する	43
カスタムメニュー	43
システム設定をする	44
デザインを設定する	52
オーディオを設定する	55
ビデオを設定する	61
Bluetoothを設定する	63

付録

再生できるファイルの種類	68
音声コーデックについて	69
映像コーデックについて	70
故障かな?と思ったら	71
共通項目	71
Apple CarPlay	72
ラジオ	72
USBメモリー	72
iPod	73
Bluetooth	73
エラーメッセージと対処方法	74
共通項目	74
GPS	74
Apple CarPlay	75
USBメモリー	75
iPod	75
Bluetooth	75
ステアリングリモコン	76
ファームウェアバージョン アップ	76
索引	77
用語索引	77

本書の見かた

本書の表記のしかた

表記	意味
	注意マーク 操作を行う状況において注意していただきたいことや、本製品の性能を維持する上で注意していただきたいことについて説明しています。
	メモ 操作する上でのヒントや便利な使いかたなどについて説明します。
	タッチキーを表します。 例：  にタッチする
	本体左に常に表示されているボタンを表します。 例：  にタッチする
→斜体	参照していただきたい本文タイトルやページ、または他の説明書へ導きます。 例：→「基本操作」(P8)
長くタッチする	「ピッ」と音がするまでタッチすることを示します。
タッチし続ける	タッチしている間だけ動作していることを示します。

メモ

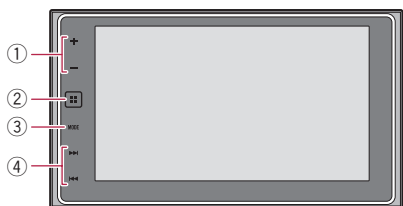
- 本書では、iPhone、iPodを総称して「iPod」と表記する場合があります。
- 本書で使っているイラストや画面例は、実際の製品と異なることがあります。
- 実際の製品の画面は、性能・機能改善のため、予告なく変更することがあります。
- 本書に記載している製品名などの固有名詞は各社の商標または登録商標です。

基本操作

本機の基本的な操作方法を説明します。

ボタン操作

本体のボタンを使用してできる操作です。



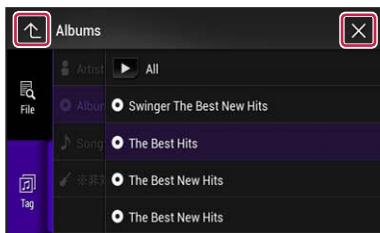
① (音量調整)	オーディオの音量を調整します。
② (HOME)	HOME画面を表示します。 (→P10) 長くタッチすると、音声認識機能が使えます。(→P38)
③ (MODE)	Apple CarPlayと本機の画面を切り換えます。 (→P14)
④ (トラックUP) / (トラックDOWN)	再生中のAVソースのトラックをアップ/ダウンします。 長くタッチすると、フォルダーのアップ/ダウンを行います。

メモ

• ボタンの点灯色は変更できます。(→P53)

タッチ操作

画面上に表示されるマークや項目(タッチキー)に直接指でタッチしてできる操作です。



	現在開いているメニューなどの画面から、1つ前の画面に戻ります。
	現在開いているメニューなどを終了して、元の画面またはHOME画面に戻ります。

メモ

- タッチキーの表示が薄くなっている場合は、選択できないことを意味しています。
- その他のタッチキーについては、各機能の説明ページをご覧ください。

リスト操作

設定項目などがリストで表示されます。



タブ	タブ付きリストでは、選んだタブのリストに切り換わります。
リスト項目	目的の項目を選んでタッチします。リストを上下にスクロールすると、ページ送りができます。
リストバー	リストの現在位置を示します。上下にスライドして、リストをスクロールすることができます。

走行中の機能制限

本機は、安全のため走行中に画面を操作したり、映像/画像が見られないように設計されています。走行中に映像/画像を見ようとすると、エラーメッセージが表示されます。

操作や映像視聴などは、安全な場所に車を停めて、パーキングブレーキをかけてから行ってください。

HOME画面の操作

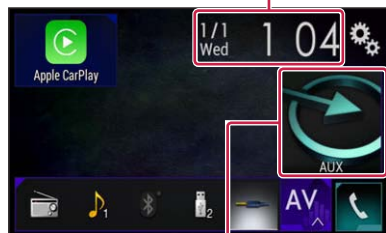
HOME画面から、本機のいろいろな機能を使うことができます。

HOME画面を表示する

1 [HOME]にタッチする

HOME画面が表示されます。

時計/カレンダー



ソース画面表示

Apple CarPlay	Apple CarPlayを起動し、iPhoneのアプリケーションを本機で表示・操作できます。(→P14)
時計/カレンダー	時計とカレンダーの設定画面が表示されます。(→P13)
設定	本機の各種設定ができます。(→P12)
ソース画面表示	選択中のAVソース画面を表示します。
AV	ラジオやUSBメモリーなどのAVソースを選択します。(→P10)
ハンズフリー	ハンズフリーで電話をかけます。(→P34)

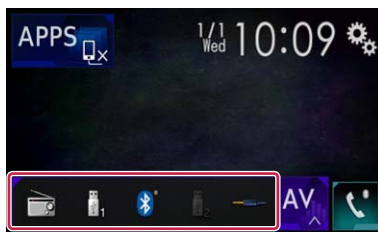
AVソースを選択する

再生するAVソース(機器)を選択します。

1 [HOME]にタッチする

HOME画面が表示されます。

2 使用するAVソースにタッチする



AVソースが表示されていないときは、**AV**にタッチすると、すべてのAVソースが表示されます。



選択したAVソースの画面が表示されます。

AV ソースの種類

FM/AM	FM/AMラジオを聴きます。 (→P16)
USB1	USBポート1のUSBケーブルに接続された機器を使用します。(→P19) Apple CarPlayを利用する場合は、iPhoneをUSBポート1に接続します。
Bluetooth Audio	Bluetoothでワイヤレス接続された機器を使用します。 (→P30)
USB/iPod2	USBポート2に接続された機器を使用します。(→P27) USBメモリーやiPodは、通常こちらに接続します。
AUX	AUX端子のケーブルに接続された外部機器を使用します。 (→P39)
AV	AV端子のケーブルに接続された外部機器を使用します。
Rear	リアモニターのAVソースを選択します。(→P12)
OFF	AVソースがオフになります。

メモ

- USBポートに接続した機器によって表示が異なります。
- 接続されていない機器は選択できません。
- HOME画面またはAVソースの一覧画面で、アイコンをドラッグして順番を入れ換えることもできます。

AVソースを切り換える

再生中のAVソース画面から切り換えることもできます。

1 AVソースの画面で☑️にタッチする



AVソースのリストが表示されます。

2 切り換えるAVソースにタッチする



メモ

- リストの順番を変更することもできます。

リアモニターのAVソースを選択する

リアモニターに表示するAVソースを選択します。

- 1 **☐**にタッチし、**AV**にタッチする
- 2 **Rear**にタッチする



リアモニターのAVソースが表示されます。

3 AVソースを選択する



Mirrorは、フロントモニターのAVソースの内容をリアモニターにも表示します。

メモ

- 走行中はフロントモニターには映像が表示されず、リアモニターだけに表示されます。

設定メニューを表示する

本機のおさまな動作の設定を行います。(→P43)

HOME画面やAVソース画面、ハンズフリー画面で $\left[\text{設定} \right]$ にタッチすると設定できます。



デザイン設定

画面のデザインを設定します。(→P52)

システム設定

本機のお全体的な設定をします。(→P44)

カスタムメニュー

よく使う設定項目として登録したリストを表示できます。(→P43)

カスタムメニュー登録済みマーク



設定項目

Bluetooth設定

Bluetooth接続の設定をします。(→P63)

ビデオ設定

映像に関する設定をします。(→P61)

オーディオ設定

音声に関する設定をします。(→P55)

時計/カレンダーの表示を設定する

時計とカレンダーの表示を設定できます。

1 時計アイコンにタッチし、時計/カレンダー部分にタッチする



時計の設定画面が表示されます。

2 各項目を設定する



月/日	日/月と月/日の表示を選択します。
時計表示	12hと24h表示を選択します。

Apple CarPlayを利用する

本機にiPhoneを接続し、Apple CarPlayを利用することができます。

メモ

- iPhoneやアプリケーションの仕様によっては、本機の画面に表示できない場合があります。
- Apple CarPlayは、iOS 7.1以降を搭載したiPhone 5以降の端末に対応しています。対応機種について詳しくは、弊社ホームページでご確認ください。
(<http://pioneer.jp/carrozeria/>)

iPhoneを接続する

1 本機のUSBポート1に、iPhoneを接続する

→ 付属の『取扱説明書』

Apple CarPlayの画面になります。

メモ

- 「Apple CarPlay iPhoneのロックを解除すると開始します」と表示されたときは、iPhoneのロックを解除してください。
- Androidなどの別の機器と本機がBluetoothで接続されていたときは、Bluetooth接続は解除されます。
- 接続に問題が見られる場合は、Lightningケーブルを外してiPhoneを接続し直してください。
- Apple CarPlayのときは、USBメモリーの映像の音声は再生できません。また、リアモニターのAVソースでUSB/iPodは利用できません。

Apple CarPlayの画面

アプリケーションを起動します。

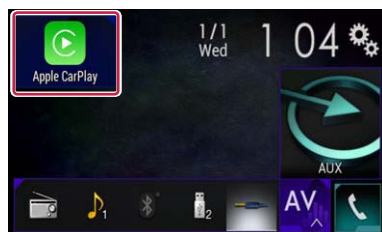


本機のHOME画面を表示します。
Apple CarPlayのHOME画面を表示します。

MODE	Apple CarPlayと本機の画面を切り換えます。
■	長くタッチすると、音声認識機能を起動します。

HOME画面からの切り換え

HOME画面が表示されていたときは、**Apple CarPlay**にタッチします。



音量調節

アプリケーションの画面で \ominus / \oplus にタッチすると、以下が4秒間表示されます。ガイド音量とメイン音量は、それぞれ設定ができます。



- ① ガイド音声のミュート
- ② メイン音量
- ③ ガイド音声の音量調節

表示が消えたときは、 \ominus / \oplus にタッチすると再度表示されます。

メモ

- ・メイン音量は \ominus / \oplus で調節します。

運転席の位置を設定する

右ハンドル車か左ハンドル車かによって、Apple CarPlay画面のサイドバーの位置を変更します。

1 ⌘ にタッチし、 ⚙ — 🔊 にタッチする



2 Apple CarPlay設定にタッチする



3 ドライビングポジションにタッチする



タッチするごとに切り換わります。

ライト	右ハンドル車のときに選択します。サイドバーが画面右側に表示されます。
レフト	左ハンドル車のときに選択します。サイドバーが画面左側に表示されます。

ラジオを聞く

ラジオの受信のしかたを説明します。

1 AVソースをFM/AMに切り換える

ラジオ受信画面が表示され、前回受信していた放送局を受信します。



周波数を順に送ります。長くタッチすると、受信できる放送局を自動的に探し、放送を受信すると止まります。
◀▶でも操作できます。

2 ▶にタッチする



プリセットリストが表示されます。



プリセットリスト

プリセットリスト	放送局にタッチすると、その放送局の放送を受信します。長くタッチすると、現在受信中の周波数をプリセットメモリーとしてリストに登録します。
FM1 / FM2 AM1 / AM2	バンドを切り換えます。 (→P17)
BSM	受信状態の良い放送局を自動的に探してプリセットリストに登録します。(→P17)

メモ

- 本機には、あらかじめ放送局名が記憶されています。画面に表示されている放送局名と受信している放送局名が異なる場合は、放送局名を変更できます。→「放送局名を選ぶ」(P18)
- 放送局がリスト表示されていても、現地の環境や電波状況によっては、受信できない場合があります。
- トンネル内や山かげ、ビルの谷間など、電波がさざぎられやすい場所、電波の弱い地域では、受信状態が悪くなる場合があります。

バンドを切り換える

本機ではFM/AMそれぞれに2つのバンドがあり、バンドごとにプリセットリストを使い分けることができます。

1 FM1 / AM1 にタッチする



タッチすることにより、以下のように切り換わります。

FM1 ↔ FM2

AM1 ↔ AM2

メモ

・ふだんはFM1やAM1を使用し、旅行先ではFM2やAM2を使用するなど、用途によって使い分けると便利です。

放送局を登録する

放送局をプリセットリストに登録します。

放送局を自動で登録する

受信状態の良い放送局を探して、プリセットリストに自動的に登録します。

1 > にタッチする

2 BSM にタッチする



キャンセルにタッチすると、自動登録を中止します。

自動登録が完了すると、プリセットリストに放送局が登録されます。

メモ

・受信状態の良い放送局が6局以下の場合には、以前に登録した放送局が残ることがあります。

放送局を手動で登録する

各バンドごとに6局まで手動で登録できます。

1 ◀ / ▶ にタッチして、登録したい放送局(周波数)を選ぶ



2 登録したいプリセットリスト項目に長くタッチする



現在受信中の放送局(周波数)が、選んだプリセットリスト項目に登録されます。

放送局名を選ぶ

プリセットリストに表示されている周波数を、放送局名の表示に変更することができます。

画面表示と実際の放送局名が異なる場合は、放送局名を変更できます。

1 ◀/▶にタッチして変更する放送局(周波数)を選ぶ

2 ⚙️-📶にタッチする



3 AVソース設定にタッチする



4 放送局名選択にタッチする



5 放送局名にタッチする



手順1で表示していた周波数の放送局名の候補が表示されます。

6 放送局名を選ぶ



プリセットリストに放送局名が登録されます。

メモ

- 候補がない場合は、表示されません。
- 放送局名を表示させない場合は、「設定無し」を選びます。

音楽・映像・画像ファイルを再生する

本機に接続したUSBメモリー内の音楽ファイルや映像ファイルの再生のしかたを説明します。

！ 注意

- ・停車中でパーキングブレーキがかかっているときに、フロントモニターで映像を見ることができます。走行中は安全のためフロントモニターに映像は表示されません。

メモ

- ・本機は、ファイルシステムFAT32/NTFSのUSBメモリーに対応しています。
- ・本機で再生できるファイルについては、「再生できるファイルの種類」(→P68)をご覧ください。

1 本機にUSBメモリーを接続する

→付属の「取扱説明書」

2 AVソースをUSBに切り換える

USBの画面が表示され、ファイルが再生されます。

映像再生画面



音楽再生画面

楽曲情報


















タイムバー



画像再生画面



MIXTRAX (音楽のみ)	音楽再生機能「MIXTRAX」の画面を表示します。(→P25)
楽曲情報 (音楽のみ)	タッチすると、その曲に関連するアーティスト名/アルバム名/タイトル/ジャンルから曲を探ることができます。(リンクサーチ)
EQ (音楽/映像のみ)	イコライザー画面を表示します。(→P22)
≡	リスト画面を表示します。(→P21)
i (音楽のみ)	楽曲情報とファイル名/フォルダー名の表示を切り換えます。

	再生中は一時停止をします。一時停止中は再生を開始します。
	再生するファイルの種類（音楽/映像/画像）を切り換えます。（→P20）
	トラックダウンします。長くタッチすると早戻しします。  でも操作できます。
	トラックアップします。長くタッチすると早送りします。  でも操作できます。
Func.> (音楽のみ)	ファンクションバーを表示します。
	リピート再生します。（→P21）
 (音楽のみ)	ランダム再生します。（→P22）
S.Rtrv (音楽のみ)	サウンドレトリバー（圧縮音楽の音質補正機能）で再生できます。（→P23）
Time< (音楽のみ)	タイムバーを表示します。タイムバーをスライドして再生位置が指定できます。（→P23）
 (映像/画像のみ)	表示画面を設定します。（→P23）
 (映像のみ)	再生を停止し、停止した位置を記憶します。次に再生したときは、その位置から再生します。（リジューム再生）
 (映像のみ)	スロー再生します。▶ にタッチすると通常のスピードに戻ります。
 (映像のみ)	DivXファイルの音声言語を切り換えます。
 (映像のみ)	DivXファイルの字幕言語を切り換えます。
 (画像のみ)	フォルダーをアップ/ダウンします。
 (画像のみ)	画像を90°回転して表示します。

 **メモ**

- 映像/画像再生画面でタッチキーが表示されていないところをタッチすると、タッチキーの表示が消えます。また、操作後しばらくすると、タッチキーの表示が消えます。画面をタッチすると、再度タッチキーが表示されます。

ファイルの種類を切り換える

ファイルは種類ごとに再生されます。

1  **にタッチする**



2 **ファイルの種類を選択する**



Music	音楽ファイルを再生します。
Video	映像ファイルを再生します。
Photo	画像ファイルを再生します。

再生するファイルを探す

ファイルのリストを表示して、再生したいファイルを選ぶことができます。

1 一覧にタッチする

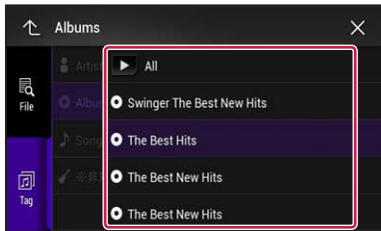


2 音楽ファイルのときはFile / Tagを切り換える



File	フォルダーの一覧からファイル名で探します。
Tag	音楽ファイルの楽曲情報を利用してアーティスト名/アルバム名などで探します。

3 ファイル/曲にタッチする



選んだ曲が再生されます。

リピート再生

指定したフォルダー、トラックを繰り返して再生できます。

1 リピートアイコンにタッチする



タッチすることにより、以下のように切り換わります。

 (REPEAT ALL)	USB内の再生可能な同じ種類のファイルをすべて繰り返します。
 (TRACK REPEAT)	再生中のトラック（ファイル）を繰り返します。
 (FOLDER REPEAT)	Fileモードのときに、再生中のフォルダーを繰り返します。

メモ

- 再生しているAVソースやファイルの種類、検索モードによって、選択できるリピート方法が異なります。
- リピート再生中にリピート再生の範囲を超える操作（TRACK REPEAT中の選曲操作など）を行うと、リピート再生の範囲が変更される場合があります。

ランダム再生

曲順を変えて再生できます。

1 [X] にタッチする



タッチするごとに、ランダム再生のOn (青)/Off (白)が切り換わります。

メモ

- リピート再生の範囲がTRACK REPEATの場合、ランダム再生をOnにすると、リピート再生の範囲はFOLDER REPEATに切り換わります。
- ランダム再生中にリピート再生やリピート再生の範囲を超える操作(フォルダーの切り換えなど)を行うと、ランダム再生が中止される場合があります。

イコライザーカーブを切り換える

音楽/映像のイコライザーカーブを切り換えます。

1 [EQ] にタッチする



イコライザー画面が表示されます。



イコライザーの設定については「イコライザーを設定する」(→P56)をご覧ください。

サウンドレトリバーを切り換える

圧縮音楽を再生するときに効果的です。圧縮音楽は、人の耳では聴こえにくい音の成分がカットされてしまいます。「サウンドレトリバー」は、デジタル信号処理により残されたデータから圧縮時に失われた音を補間して、音楽の持つ余韻や躍動感、広がり感のある音を復元して再生できます。

1 S.Rtrv にタッチする



タッチすることにより、以下のように切り換わります。

S.Rtrv (Off)	サウンドレトリバー機能を使用しません。
S.Rtrv (Mode1)	圧縮率の低い圧縮音楽に適しています。
S.Rtrv (Mode2)	圧縮率の高い圧縮音楽に適しています。

タイムバーサーチ再生

タイムバーのカーソルを左右にスライドさせることで、再生位置(時間)を指定できます。

1 タイムバーの を左右にスライドして、再生位置を決める

タイムバーが表示されていないときは、**Time<** にタッチします。



指を離れた位置(時間)から再生されます。

メモ

- iPhone 5s、iPhone 5c、iPhone 5または iPod touch (第5世代) では、タイムバーサーチ再生はできません。

ワイドモードを設定する

映像/画像再生時の表示モードを変更できます。

メモ

- 通常、映像は縦横比 4 : 3、ワイド映像は縦横比 16 : 9 です。
- ファイル自体の縦横比と異なるモードを選択すると、表示が粗くなったり正しく表示されないことがあります。

1 にタッチする



2 お好みの表示方法にタッチする



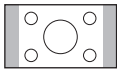
Full
(映像のみ)
4 : 3の映像の左右だけを拡大します。映像が欠けることなくワイド画面が表示されます。



Zoom
(映像のみ)
4 : 3の映像の上下だけを拡大します。映画など横長の映像のうち、字幕が映像の上に重なって表示されるものに適しています。



Normal
4 : 3の映像/画像をそのまま表示します。



Trimming
(画像のみ)
画像の縦横比が本機のモニター
の縦横比と異なるときに、画像の
端をトリミングして表示します。

3 にタッチする

スライドショーを設定する

画像はスライドショーで連続再生されます。画像の表示間隔を設定することができます。

1 にタッチする



ビデオ設定画面が表示されます。

2 スライドショー設定にタッチする



3 表示間隔を選択する

5秒/10秒/15秒/マニュアルから選択します。



MIXTRAXを利用する

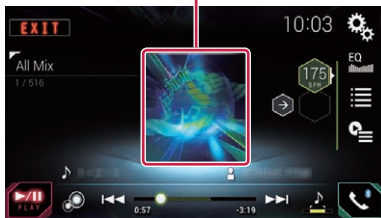
パイオニアが開発した音楽再生機能「MIXTRAX」が利用できます。MIXTRAXは保存されている音楽から、テンポや雰囲気似ている曲を自動的に選曲して連続再生します。

1 MIXTRAXにタッチする



MIXTRAXが起動します。

リンクゲート画面を表示



All Mix	リンクゲート画面またはリスト表示で選択した曲を表示します。
リンクゲート画面を表示	リンクゲート画面を表示し、再生中の曲のアーティスト名/ジャンル/テンポ/年代を表示します。
175	上下に動かしてBPM(テンポ)を設定します。ビジュアルライザー画面のときは設定できません。
↩	元のBPMに戻します。
☰	おすすめ/Tag/Fileの曲リストが表示できます。

☰	全リストを表示します。 🎵にタッチすると、再生しない曲を指定できます。
🎵	ビジュアルライザー画面に切り換えます。
🎵	ミックススタイルを切り換えます。 Standard : 曲の1番のサビと2番のAメロ/Bメロ/サビを抜き出して再生します。 Simple : 曲のイントロとエンディング付近の無音をなくして再生します。 Active : 曲の盛り上がり部分だけを短く抜き出して再生します。

2 終了するときにはEXITにタッチする

メモ

- MIXTRAXは、USBメモリーの音楽ファイルを再生しているときだけ起動できます。
- MIXTRAXの詳細については、下記を参照してください。

(<http://www.mixtrax-global.com/jp/>)

フラッシュパターンを設定する

1 ⚙️にタッチする



2 AVソース設定にタッチする



3 MIXTRAX設定にタッチする



4 フラッシュパターンにタッチする

5 フラッシュパターンを選択する

サウンド1～サウンド6	サウンドレベルに応じてフラッシュパターンが変化します。
L-Pass1～L-Pass6	低音のレベルに応じてフラッシュパターンが変化します。
ランダム1	サウンド1～サウンド6とL-Pass1～L-Pass6をランダムに変化させます。
ランダム2	サウンド1～サウンド6をランダムに変化させます。
ランダム3	L-Pass1～L-Pass6をランダムに変化させます。
Off	フラッシュパターンを表示しません。

iPodを使う

本機に接続した iPod の操作のしかたを説明します。

メモ

- ビデオ機能に関しては、ビデオに対応した iPod が必要です。
- Lightningケーブルで接続したときは、ビデオは再生できません。→付属の『取扱説明書』
- iPod利用中に iPodがSTOP状態となることがあります。(映像再生中に iPodを一度外して再度着けた場合など)
- 絞り込み操作中、リストに表示される内容と再生される曲は異なることがあります。
- 絞り込み操作中、動作が不安定となることがあります。
- ご使用前に、お持ちの iPodのバージョンを最新にしてください。
- 対応 iPodおよび制限事項については、カロツツェリアホームページ (<http://pioneer.jp/carrozzeria/>) をご覧ください。

1 本機に iPod を接続する

→付属の『取扱説明書』

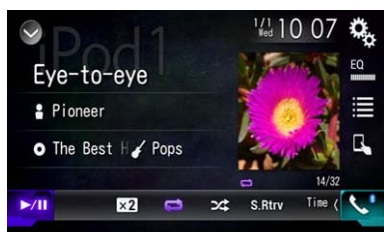
2 AVソースを iPod に切り換える

iPod の画面が表示され、前回再生していた曲または映像から再生されます。

iPod ミュージック



タイムバー



iPod ビデオ



楽曲情報 (音楽のみ)	タッチすると、その曲に関連するアーティスト名/アルバム名/タイトル/ジャンルから曲を探すことができます。(リンクサーチ)
EQ	イコライザー画面を表示します。(→P22)
≡	リスト画面を表示します。(→P21)
📄	接続している iPod から本機の iPod 機能进行操作できます。(→P29)
⏸	再生中は一時停止をします。一時停止中は再生を開始します。
⏮	トラックダウンします。長くタッチすると早戻しします。⏮でも操作できます。

	トラックアップします。長くタッチすると早送りします。⏮でも操作できます。
Func.> (音楽のみ)	ファンクションバーを表示します。
x 2	オーディオブックの再生速度を設定します。(→P29)
	リピート再生します。(→P21)
	シャッフル再生を行います。(→P28)
S.Rtrv (音楽のみ)	サウンドレトリバー (圧縮音楽の音質補正機能) で再生できます。(→P23)
Time< (音楽のみ)	タイムバーを表示します。タイムバーをスライドして再生位置が指定できません。(→P23)
 (映像のみ)	表示画面を設定します。(→P23)



シャッフル再生

再生順を変えて再生できます。

1 にタッチする



タッチすることにより、以下のように切り換わります。

 (SHUFFLE SONGS)	プレイリスト、アルバム、またはその他のリストのトラック (曲) をランダムで再生します。
 (SHUFFLE ALBUMS)	プレイリストまたはアルバム内のトラック (曲) をランダムで再生します。

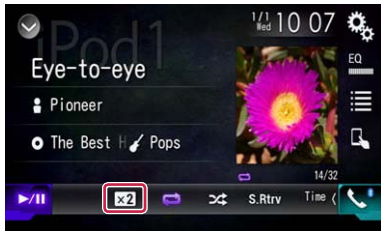
メモ

- ビデオ再生時は、 にタッチすることにより、シャッフル再生の On/Off が切り換わります。

再生速度を設定する (ミュージックのみ)

オーディobook再生時の再生速度を変えられます。

1 **×2** にタッチする



タッチするごとに、以下のように切り換わります。

×1	通常のスピードで再生します。
×2	2倍のスピードで再生します。
×1/2	通常の半分程度のスピードで再生します。

iPodで操作する

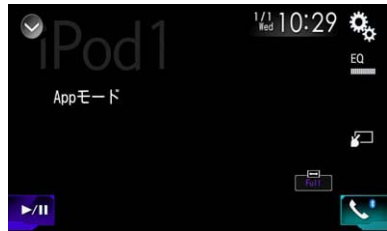
接続しているiPodから本機のiPod機能进行操作します。

1 **📱** にタッチする



Appモードになり、タッチキーの表示が📱に換わります。

2 iPodで再生するミュージック/ビデオを選ぶ



3 Appモードを終了するときには📱にタッチする

メモ

- iPhone 5以降またはiPod touch (第5世代)では、Appモードは使用できません。

Bluetooth Audioの操作のしかた

AVプロファイルに対応したBluetooth機器と本機をワイヤレス接続することで、Bluetooth Audio機器内の音楽データを本機で再生することができます。AVプロファイルの種類やバージョンによって、操作できる機能や表示される内容は異なります。

接続プロファイル	音声伝送	選曲操作	特殊再生操作	情報表示
A2DP Ver1.0	○	×	×	×
A2DP+AVRCP Ver1.0	○	△	×	×
A2DP+AVRCP Ver1.3	○	△	△	△
A2DP+AVRCP Ver1.4	○	△	△	△

○：できます。 △：Bluetooth Audio機器により異なります。 ×：できません。

A2DP (Advanced Audio Distribution Profile) とは、音声をワイヤレスで伝送するためのプロファイルです。AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile) とは、楽曲の選曲操作や情報表示するためのプロファイルです。

Bluetooth Audio機器の登録

Bluetooth Audio機器をお使いになるには、あらかじめ本機にBluetooth Audio機器を登録する必要があります。

→「Bluetoothを設定する」(P63)

登録が行われ、使用用途として「ハンズフリー／Bluetooth Audio」または「Bluetooth Audio」が設定されたBluetooth Audio機器は、AVソースがBluetooth Audioに切り換えられた時点で自動的に本機と接続され再生が始まります。接続された機器によっては、再生が始まる場合と始まらない場合があります。

メモ

- 優先接続するBluetooth Audio機器を変更したい場合は、Bluetooth設定で行ってください。→「機器を切り換える」(P65)
- Bluetooth Audio機器が別のプロファイルで接続中は、接続できない場合があります。その場合は、Bluetooth Audio機器の全てのプロファイルを解除してから接続してください。

- 本機とiPhoneがLightningケーブルで接続されていてApple CarPlayになっているときは、Bluetooth接続はできません。Lightningケーブルを取り外してください。また、Bluetoothで接続中にApple CarPlayに切り替わったときは、Bluetooth接続は解除されます。Apple CarPlayが解除されると、Bluetooth接続に戻ります。

Bluetoothを設定する

本機でBluetoothが使用できるように設定します。

1 接続機器を登録する

→「機器を登録する」(P64)

2 設定メニューにタッチする



3 AVソース設定にタッチする



4 Bluetooth Audio にタッチしてOnに設定する



Bluetooth Audioが使用できるようになります。

Bluetooth Audioを再生する

1 AVソースをBluetoothに切り換える

Bluetooth Audioの画面が表示され、自動的にBluetooth Audio機器と接続を行い、再生が始まります。







タイムバー



EQ	イコライザー画面を表示します。(→P22)
☰	リスト画面を表示します。(→P21)
▶	再生中は一時停止をします。一時停止中は再生を開始します。
◀◀	トラックダウンします。長くタッチすると早戻しします。☐でも操作できます。
▶▶	トラックアップします。長くタッチすると早送りします。☐でも操作できます。
Func.>	ファンクションバーを表示します。
🔄	リピート再生します。(→P21)
🎲	ランダム再生します。(→P22)
S.Rtrv	サウンドレトリバー（圧縮音楽の音質補正機能）で再生できます。(→P23)
Time<	タイムバーを表示します。タイムバーをスライドして再生位置が指定できます。(→P23)

メモ

- 自動的に再生が始まらない場合は、 にタッチしてください。
- お使いの Bluetooth Audio 機器によっては、 にタッチしても再生が開始されない場合があります。その場合は、Bluetooth Audio 機器側で再生を開始させてください。
- A2DP 接続のみの場合は  や  などの操作タッチキーは選択できません。その場合は、Bluetooth Audio 機器側で操作してください。
- Bluetooth Audio 使用中に、ハンズフリー機能や通信機能、電話帳転送機能を使用すると、一時的に Bluetooth Audio の機能は停止します。
- A2DP+AVRCP 接続の場合でも、機種によっては操作できない場合や本書に記載された説明とは異なる動作をする場合があります。
- Bluetooth で接続中に携帯電話を近くで使用すると、ノイズが発生することがあります。
- A2DP+AVRCP Ver1.3 または A2DP+AVRCP Ver1.4 で接続した場合は、トラックタイトルやアーティスト名などの情報が表示されます。(Bluetooth Audio 機器によっては表示されない場合もあります。) また、何らかの理由により再生が始まらない場合や接続が切断された場合は、一時的にこれらの情報が表示されなくなりますが、再生が始まると再表示されます。
- お使いになる Bluetooth Audio 機器によっては使用できない機能や制限事項があります。詳しくは、販売店にご確認ください。

- 電話帳転送を行った場合
- Apple CarPlay を起動した場合

メモ

- 以下の場合は、自動接続の対象外となります。Bluetooth Audio 機器側から再接続してください。→「Bluetooth Audio 機器が自動的に接続されない場合」(P32)
 - 本機で接続解除を行ったとき
 - Bluetooth Audio 機器側の操作で Bluetooth 接続を切断した場合
 - Bluetooth Audio 再生中に Bluetooth Audio 機器が本機から離れ、強制的に Bluetooth 接続が切断された場合
 - その他、何らかの理由により再接続が失敗した場合
- ハンズフリー通話を行ったときは接続は切断されず、再生が一時停止します。ハンズフリー通話の終了後に停止した箇所から自動的に再生を開始します。
- お使いになる携帯電話によっては、Bluetooth Audio を使用中はデータ通信を行えない場合があります。このような場合は、いったん Bluetooth Audio を OFF(→P11) にし、携帯電話の音楽再生ソフトを終了させてからデータ通信を行ってください。

Bluetooth Audio 機器が自動的に接続されない場合

お使いになる Bluetooth Audio 機器によっては、Bluetooth Audio 機器の登録が行われていても自動的に接続できないことがあります。その場合は、Bluetooth Audio 機器を操作して本機と接続してください。

メモ

- 接続を開始してから1分以内に接続が完了しない場合、接続処理は中断されます。
- Bluetooth Audio 機器側の接続操作は、Bluetooth Audio 機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

Bluetooth Audio 機器の接続について

一時的に接続が切断された場合

本機との接続が成功した Bluetooth Audio 機器は、以下のような理由により一時的に Bluetooth 接続が切断された場合、自動的に再接続を行います。

- AV ソースを切り換えた場合
- ACC を OFF/ON した場合
- データ通信を行った場合

ハンズフリー通話をする

本機にBluetooth接続したiPhoneやAndroidを使って、ハンズフリー通話ができます。あらかじめBluetooth設定を行ってください。→「Bluetoothを設定する」(P63)

メモ



- 本機とiPhoneがLightningケーブルで接続されていてApple CarPlayになっているときは、Bluetooth接続はできません。
- Apple CarPlayで通話するときには、「Apple CarPlayを利用する」(→P14)をご覧ください。

Bluetoothを設定する

本機でBluetoothが使用できるように設定します。

1 接続機器を登録する

→「機器を登録する」(P64)

機器が本機と接続されると、が表示されます。(未接続時は、)

自動応答を設定する

かかってきた電話に自動応答するかしないかを設定できます。
工場出荷時は「Off」です。


1 にタッチし、-にタッチする



2 自動受話にタッチする



タッチするごとに切り換わります。

On	着信5秒後に自動で通話できます。
Off	 にタッチしない限り、通話できません。

メモ

- 自動接続をOnに設定している場合でも、機器の状況によっては接続できない場合があります。

着信音の出力設定をする

車のスピーカーから着信音を出力するかしないかを設定できます。
工場出荷時は「On」です。

1 Bluetooth設定画面でRing Toneにタッチする



タッチすることにより、On ↔ Off が切り替わります。

電話帳の表示を変更する

電話帳を表示したときの姓・名の表示を名・姓に変更できます。

1 Bluetooth設定画面で姓名変更にタッチする



2 はいにタッチする

電話帳が名・姓の表示になります。

ハンズフリー画面の操作

受話音量の調整やハンズフリー機能のOn/Off、電話を切るなどの操作ができます。



1 HOME画面またはAVソース画面で、にタッチする



ハンズフリー画面が表示されます。

ハンズフリーのダイヤル発信画面



機器情報	接続した機器の電池/電波/Bluetoothの登録番号/機器名称が表示されます。
	電話を切ります。
Private On/ Private Off	ハンズフリー機能を On/Off します。接続した機器で通話したいときは On にします。
Vol	受話音量を3段階で調整できます。
	画面を閉じます。


メモ

- 接続した機器側で操作することもできます。

電話の受けかた


電話がかかってくると、車のスピーカーから着信音が流れ、以下の画面が表示されます。



 にタッチすると電話がつながり、通話ができます。

電話を切るときは、 にタッチします。

メモ

- 電話帳 (→P36) に登録されている電話番号と一致すると、電話帳で登録された名称が表示されます。
- 発信者番号通知サービスの利用状況によっては、相手の電話番号や名前は表示されません。
- 接続した機器を操作して電話に出ることもできます。着信を拒否するときは、接続機器側で操作してください。
- 接続した機器側で応答保留にしても、 にタッチすることで応答保留を解除できます。

電話のかけかた

いろいろな方法で電話をかけることができます。

電話番号を入力して電話をかける

電話番号を入力して電話をかけます。

1 ハンズフリー画面で にタッチする




2 電話番号を入力し、 にタッチする



発信を開始します。



発信中  にタッチすると、発信を中止します。

電話帳から電話をかける

機器から転送された電話帳情報を使って電話をかけます。

メモ

- 電話帳は、登録した機器ごとに、それぞれ1,000件ずつ保存できます。
- 電話帳は、本機に登録された機器ごとに読み込まれます。接続する機器を切り換えると、表示される電話帳の内容も切り換わります。
- 登録した機器によりメモリダイヤルの読み込みに制限がある場合があります。詳しくは機器の取扱説明書をご覧ください。

1 ハンズフリー画面で にタッチする

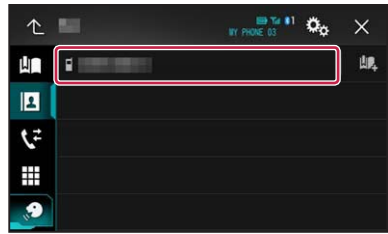


2 相手先を選んでタッチする

右側のアルファベットをスクロールすると、名前のアルファベットで検索することができます。



3 電話番号を選んでタッチする



発信を開始します。

メモ

- Bluetoothで接続すると、機器の電話帳データが転送されます。確認の画面で **いいえ** を選んだ場合は、Bluetooth接続した機器を操作してあとから転送することができます。

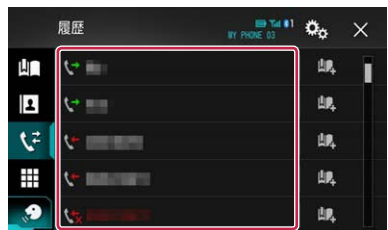
発着信履歴から電話をかける

本機と接続中の履歴(発信、着信、不在着信)を表示し、電話をかけることができます。

1 ハンズフリー画面で にタッチする



2 表示したい履歴を選んでタッチする



3 相手先を選んで にタッチする



発信を開始します。

メモ

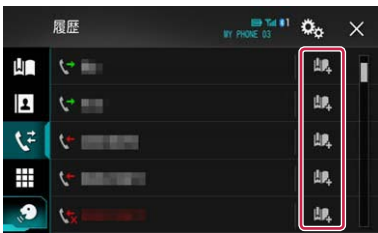
- 発信履歴、着信履歴、不在着信履歴を含め、100件まで保存されます。新しい履歴ができたときは、古い履歴から順に削除されます。

プリセットダイヤルから電話をかける

機器ごとによく連絡する相手を6件まで登録できます。


プリセットダイヤルに登録する

1 ハンズフリー画面の / から登録する相手を選び、 にタッチする



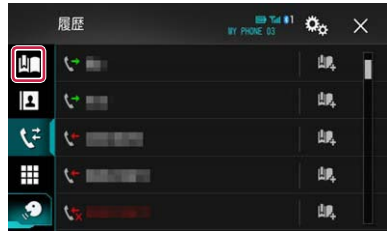
プリセットダイヤルに登録されます。

メモ

- プリセットダイヤルのリストで  にタッチすると、登録した相手を削除できます。

電話をかける

1 ハンズフリー画面で にタッチする



2 相手先を選んでタッチする



3 にタッチする

発信を開始します。

音声認識機能を使う

本機を使ってiPhoneの音声認識操作ができます。

iPhoneでSiriの設定をONにしている場合は、Siriアイズフリー（音声認識）機能が使えます。それ以外の場合は、音声コントロールとして動作します。

メモ

- SiriはiOS 5.0以降のiPhoneで利用できます。音声認識で操作できる機能は、iOSのバージョンとiPhoneの世代によって異なります。
- 音声認識機能については、iPhoneの取扱説明書をご覧ください。
- 車の窓を閉め、マイクの正面に向かってはっきりと、ゆっくり発声してください。
- iPhone以外の機器の音声認識には対応していません。Apple CarPlayのときは、Apple CarPlayの音声認識機能が動作します。

1 HOME画面またはAVソース画面で、にタッチする




2 にタッチする



3 マイクに向かって話す

発声した内容に関連する情報を表示します。

メモ

- 音声認識機能は、を長くタッチして起動することもできます。
- iPhoneでSiri機能がONに設定されている場合は、画面には「音声認識/応答中」と表示されます。それ以外の場合は「音声コントロール」と表示されます。
- Bluetooth接続で通話中に Apple CarPlay が起動したときは、通話中の機器が Apple CarPlay対応機器の場合はすぐにBluetooth接続が切断されて Apple CarPlayになります。Apple CarPlayに対応していない機器で通話していたときは、Bluetooth接続での通話が終わってから Apple CarPlayになります。

ハンズフリーでエコー（残響音）が気になるとき

エコーは相手の声車両スピーカーを通してマイクに入り込むことが原因で発生します。スピーカーからの声マイクに入らないようにすることでエコーを軽減できます。また、電話回線状況、使用するiPhone、通話相手の環境によりエコーが発生する場合があります。

以下のような方法でエコーを軽減できる場合があります。

- 受話音量を小さくする(→P34)
- お互いに一呼吸おいて話す

ただし、本機内部のエコーキャンセラーのしくみ上、完全にエコーをなくすことはできません。また、通話相手側が大きな声で話すとともに聞き取りにくくなります。

外部機器を使う

本機に接続したポータブルプレーヤーなどの外部映像機器の再生のしかたを説明します。



・本機と外部映像機器の接続には、別売ケーブルが必要です。ミニジャック延長ケーブル (AV用)「CD-V200ME」、または映像・音声変換ケーブル「CD-VRM200」をご用意ください。

AV/AUX入力を使用する

AV入力またはAUX入力をお使いになる場合は、あらかじめ設定が必要です。

工場出荷時は「Off」です。

1 [AV/AUX]にタッチし、[設定]にタッチする



2 [入力/出力設定]にタッチする



3 AV入力設定/AUX入力設定にタッチしてOnに設定する



AV/AUX入力を使用できるようになります。

ビデオ信号を設定する

映像機器を接続するときは、ビデオ信号を設定します。

工場出荷時は「オート」です。

1 [ビデオ]にタッチし、[設定]にタッチする



2 [映像信号設定]にタッチする



3 AV/AUXにタッチし、信号の形式を選択する



オート/PAL/NTSC/PAL-M/PAL-N/SECAMから選択します。

オートを選択すると、接続した機器によって自動的に選択されます。(工場出荷時)



AV/AUX端子の機器を再生する

1 AVソースをAV/AUXに切り換える



AV/AUX画面が表示されます。



	表示画面を設定します。 (→P23)
	再生するファイルの種類(音楽/映像)を切り換えます。 (→P20)

バックカメラを使う

別売のバックカメラユニットを接続すると、車の後方映像を本機のモニターに表示できます。

！ 注意

・バックカメラの映像だけを見て後退を行わないでください。後退するときには、直接目で後方を確認しながら後退を開始してください。バックカメラの映像は後方確認の補助手段としてご使用ください。

バックカメラを使用する

バックカメラお使いになる場合は、あらかじめ設定を行う必要があります。

工場出荷時は「Off」です。

1 設定メニューにタッチし、カメラ設定にタッチする



2 カメラ設定にタッチする



3 バックカメラ入力にタッチしてOnに設定する



バックカメラが使用できるようになります。

カメラの極性を設定する

1 「バックカメラを使用する」の 手順3の画面でカメラ極性設定にタッチする



タッチすることにより、以下のように切り換わります。

High	車のシフトレバーをR(リバース)の位置にしたときに、取り付け状態(→P50)の「バック信号」がHighと表示される車両の場合に選択します。
Low	車のシフトレバーをR(リバース)の位置にしたときに、取り付け状態(→P50)の「バック信号」がLowと表示される車両の場合に選択します。

バックカメラの映像を表示する

- 1 車両のシフトレバーをR(リバース)の位置にする

バックカメラの映像が表示されます。



シフトレバーを他のギアに切り換えると、元の表示に戻ります。

メモ

- カメラの映像は調整できます。→「画質を調整する」(P48)

駐車アシスト線を表示する

バックカメラに、駐車の際の目安となるアシスト線を表示することができます。

- 1 「バックカメラを使用する」の手順3の画面で**駐車アシスト線**にタッチしてOnに設定する



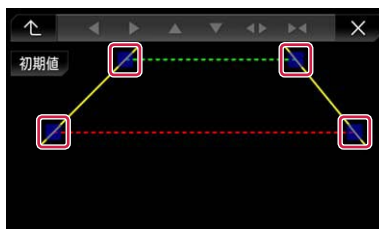
バックカメラの映像にアシスト線が表示されるようになります。

アシスト線の調整

- 1 「バックカメラを使用する」の手順3の画面で**駐車アシスト線調整**にタッチする



- 2 ポイントをドラッグして調整する



微調整するときには、◀/▶/▼/▲にタッチします。

初期値にタッチすると、調整値がリセットされます。

設定する

本機のさまざまな動作の設定を行います。

メモ

・HOME画面やAVソース画面、ハンズフリー画面で、右上に $\left[\text{設定アイコン} \right]$ が表示されているときに設定ができます。

1 $\left[\text{設定アイコン} \right]$ にタッチする



2 種類を選択する



- $\left[\text{星} \right]$ よく使用する設定項目を登録し、一覧で表示します。(→P43)
- $\left[\text{ハンズフリー} \right]$ 全体的な設定を行います。(→P44)
- $\left[\text{目} \right]$ 画面のデザインを設定します。(→P52)
- $\left[\text{スピーカー} \right]$ オーディオの設定をします。(→P55)
- $\left[\text{カメラ} \right]$ 映像の設定をします。(→P61)
- $\left[\text{Bluetooth} \right]$ Bluetoothの設定をします。(→P63)

3 設定項目にタッチする

カスタムメニュー

各メニューの中からよく使用する項目を登録し、一覧で表示できます。

カスタムメニューに登録する

1 設定したいメニュー項目を表示する

2 $\left[\text{星} \right]$ にタッチする

解除するときは、もう一度タッチします。



カスタムメニューに登録されます。



カスタムメニューから設定する

1 1 1 にタッチする



カスタムメニュー画面が表示されます。

2 設定項目にタッチする



システム設定をする

1 1 1 にタッチする



システム設定画面が表示されます。

2 設定項目にタッチする



AVソース設定	MIXTRAX設定と放送局名の選択、Bluetooth Audioを使用するかどうかを設定します。 (→P45)
タイトルスクロール	USBメモリーまたはiPodのリスト画面を表示したときに、タイトルのスクロールを常時または1回のどちらかに設定できます。
入力/出力設定	接続する機器と接続方法を選択します。(→P39)
カメラ設定	別売のバックカメラユニット接続時に、車の後方の映像を表示できるように設定します。(→P41)

Apple CarPlay 設定	右ハンドル車か左ハンドル車かによって、Apple CarPlay画面のサイドバーの位置を変更します。 (→P14)
デモモード	Onに設定すると、デモ画面が表示されます。
ステアリング リモコン設定	ステアリングリモコンの接続方法を設定します。 (→P46)
設定初期化	工場出荷時の状態に戻すことができます。 (→P47)
操作音	キーを操作したときの音のOn/Offが設定できます。
画質調整	周囲の明るさや見る角度、映像に合わせて画質を調整できます。(→P48)
システム情報	本機のソフトウェアのバージョン情報を表示したり、ソフトウェアのアップデートができます。(→P49) またGPSアンテナの接続状態や受信感度などが表示できます。(→P49)

システムを設定する

1 AVソース設定にタッチする



2 設定項目にタッチする



MIXTRAX設定	音楽再生機能「MIXTRAX」(→P25)のフラッシュパターンを設定します。
放送局名選択	ラジオの放送局名を変更します。(→P18)
Bluetooth Audio	Bluetooth Audioを使用する場合はOnに設定します。(→P30)

ステアリングリモコンを設定する

別売のステアリングリモコンアダプターまたはステアリングリモコンケーブルを使用する場合に設定します。

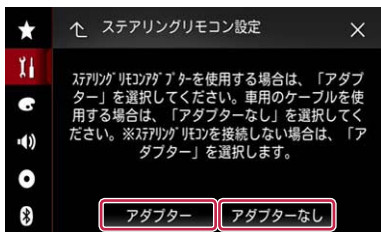
メモ

- 設定するときは、AVソースをOFFにしてください。(→P10)
- 別売ステアリングリモコンケーブルに対応する車両メーカーは、トヨタ/ダイハツ/ホンダです。
対応ケーブルについて詳しくは、弊社ホームページでご確認ください。
(<http://pioneer.jp/carrozzeria/>)

1 ステアリングリモコン設定にタッチする



2 アダプター/アダプターなしにタッチする



アダプター 別売のステアリングリモコンアダプターを使用する場合に選択します。
こちらを選択した場合は、以降の操作は画面の指示に従ってください。

アダプターなし 別売のステアリングリモコンケーブルを使用する場合に選択します。
こちらを選択した場合は、次の手順に進みます。

以降の操作は、**アダプターなし**を選択した場合のみ設定します。

3 クリア - OK にタッチする

機能を選択する画面が表示されます。

4 車両のステアリングスイッチに登録する機能にタッチする



AV Source	AVソースを順に切り換えます。長く押すとAVソースをオフにします。
🔊×	音量を0にします。
🔊+ / 🔊-	音量を調整します。
ATT	音量を小さくします。
⏮ / ⏭	再生中のAVソースのトラックをダウン/アップします。
🌀	ハンズフリー画面を表示します。
📞	電話を切ります。
📞	電話を受けます。
▲ / ▼	再生中のフォルダーをアップ/ダウンします。AVソースがFM/AMのときは、周波数を順に送ります。

▶/	再生の一時停止/開始をします。
Mode	Apple CarPlayと本機の画面を切り換えます。
Band	AVソースがFM/AMのときのバンドを切り換えます。
アダプター	ステアリングリモコン設定を「アダプター」に切り換えます。
N/A	ステアリングスイッチを無効にします。
クリア	設定を取り消します。

5 機能を登録する車両のステアリングスイッチのキーを長く押す

指定した機能が登録されます。
他のスイッチも登録する場合は、手順4～5を繰り返します。

6 設定を終了する場合は、**X**にタッチする

設定を初期化する

！ 注意

- 初期化するときは安全な場所に停車してください。また、初期化中に車のエンジンを切らないでください。
- 一度消去したデータは元に戻せません。十分注意してから操作してください。必要な情報は事前に控えておいてください。

1 設定初期化にタッチする



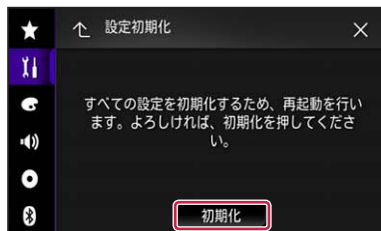
2 初期化する項目を選択する



すべての設定	すべての設定を初期化します。
オーディオ設定	「オーディオ設定」の内容を初期化します。
デザイン設定	「デザイン設定」の内容を初期化します。
Bluetooth設定	「Bluetooth設定」の内容を初期化します。

確認の画面が表示されます。

3 初期化にタッチする



設定がリセットされ、工場出荷時の状態に戻ります。

メモ

- 「デザイン設定」の一部は初期化されません。
- 初期化の際にはAVソースがOFFになり、Bluetooth接続が切断されます。

画質を調整する

周囲の明るさや見る角度、映像に合わせて黒の濃さ/コントラスト/色の濃さ/色合い/明るさ/色温度を調整できます。

メモ

- 車のライトに連動して、昼と夜の設定を自動的に切り換えます。太陽のアイコンは昼の設定、月のアイコンは夜の設定を示します。
- 黒の濃さ/コントラスト/明るさの設定は、昼と夜で別々に設定できます。
- 色の濃さ/色合いは、映像/画像を表示している場合のみ、調整できます。
- 色温度は、LED バックライトの経年劣化などの理由で、本機のモニターに表示している映像と実際の映像の色味に誤差が生じた場合などに調整します。

1 画質調整 にタッチする



2 調整範囲を切り換える

調整範囲切り換え



3 調整したい項目にタッチする



4 ◀/▶ にタッチして調整する



▲/▼ で項目を変更します。

黒の濃さ

暗	暗くなる
明	明るくなる

コントラスト

L	白黒の差が小さくなる
H	白黒の差が大きくなる

色の濃さ

L	薄くなる
H	濃くなる

色合い

R	赤くなる
G	緑になる

明るさ

暗	暗くなる
明	明るくなる

色温度

■	暖色系が強くなる
■	寒色系が強くなる

ファームウェア情報を確認する

本機のファームウェアのバージョンを表示します。

1 システム情報 にタッチする**2 ファームウェア情報 にタッチする**

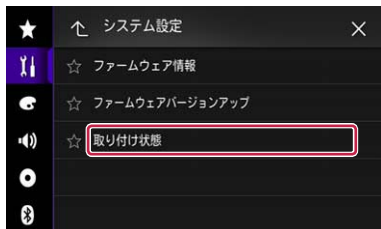
本機のファームウェアのバージョンが表示されます。

メモ

- ・ファームウェアをバージョンアップする場合は、「ファームウェアをバージョンアップする」(→P50)をご覧ください。

取り付け状態を確認する

接続機器の状態が確認できます。

1 システム情報 にタッチする**2 取り付け状態 にタッチする**

本機の取り付け状態が表示されます。

**GPS アンテナ**

GPSアンテナの接続状態が表示されます。正しく接続されているときは「OK」、接続されていない場合は「未接続」と表示されます。その右側に表示されているアンテナのイラストはGPSアンテナの受信状態を確認できます。電波の受信しやすい見晴らしの良い場所で2本以上バーが表示されていれば良好です。

測位状態

現在の測位状態（3次元測位/2次元測位/未測位）と受信中の衛星の数が表示されます。橙色の衛星マークは測位に使用している衛星の数、黄色の衛星マークは捕捉中の衛星の数を示します。3つ以上の衛星の電波を受信すると現在地の測位が可能になります。

イルミネーション

車のライトの点灯状態が表示されます。正しく接続されていないときは「Off」と表示されます。

バック信号

バック信号入力の接続状態が表示されます。シフトレバーを「R」（リバース）の位置にすると「High」と「Low」の表示が入れ替わります。ブレーキペダルを踏んだままシフトレバーを操作し、正しく表示されることを確認してください。この接続は、車の前進/後退を判断するためのものです。

ファームウェアをバージョンアップする

USBメモリーを接続して、本機のファームウェアのバージョンを更新します。ファームウェアについての情報や更新についての詳細は、パイオニアのホームページをご覧ください。

メモ

- ・更新作業中は、本機の電源をOFFにしないでください。
- ・走行中は操作できません。

1 バージョンアップファイルを格納したUSBメモリーを、USBポート1に接続する

→ 付属の『取扱説明書』

2 にタッチする

3 システム情報 にタッチする



4 ファームウェアバージョンアップ にタッチする



5 メッセージを確認後、次へ にタッチする

6 メッセージを確認後、開始 にタッチする

更新が開始し、完了すると「バージョンアップを完了しました。」と表示されます。

7 継続 にタッチする

セキュリティを設定する

起動時に入力するパスワードを設定します。

- 1** システム設定画面で図の位置を1→2の順にタッチし、3をタッチし続ける



セキュリティ設定画面が表示されます。

- 2** **パスワード設定**にタッチする

パスワード入力画面が表示されます。

- 3** **パスワード**を5～16文字で入力し、**Go**にタッチする



ヒント入力画面が表示されます。

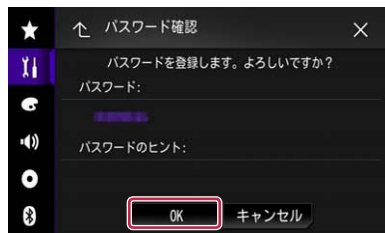
- 4** ヒントを1～40文字で入力し、**Go**にタッチする



ヒントを設定しないときは、何も入力しないで**Go**にタッチします。

パスワード確認画面が表示されます。

- 5** **OK**にタッチする



メモ

- パスワード設定を解除するときは、セキュリティ設定画面で**パスワードの消去**にタッチし、設定してあるパスワードを入力します。
- パスワードを忘れたときは、販売店またはパイオニアカスタマーサポートセンターにご相談ください。(→裏表紙)

デザインを設定する

1 にタッチする



デザイン設定画面が表示されます。

2 設定項目にタッチする



壁紙	背景を設定できます。(→P52)
イルミネーション	ボタンの点灯色を設定できません。(→P53)
基調	画面全体のデザインを設定できます。(→P54)
時計	時計のデザインを選択できます。(→P54)
オープニング画面	起動時の画面表示を選択できます。(→P55)

デザインを設定する画面が表示されます。

壁紙を設定する

1 **壁紙** にタッチする



2 **ホーム/AV** にタッチする

HOME画面とAVソース画面のそれぞれの設定ができます。



3 **壁紙を選んでタッチする**

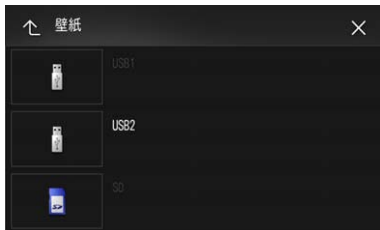
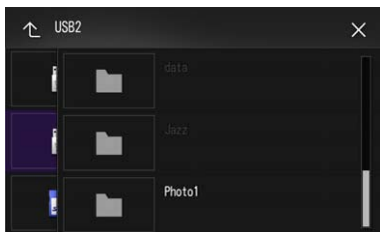
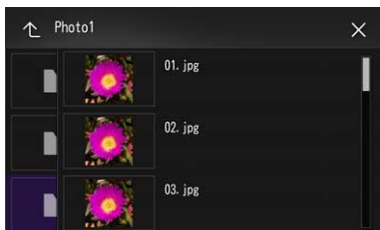


リストを左右にスライドして選択します。HOME画面は5種類、AVソース画面は7種類から選択できます。

4 **決定** にタッチする

オリジナル画像を設定する

USBメモリー内の画像（JPEG ファイル）を選択して設定することができます。

1 リスト内のにタッチする**2 画像が保存されているAVソースにタッチする****3 画像が保存されているフォルダーにタッチする****4 画像ファイルにタッチする**

選択した画像が設定されます。

イルミネーションを設定する**1 イルミネーションにタッチする****2 色を選んでタッチする**

5色が連続的に変化

カスタムカラーを設定する

色と明るさを設定できます。

1 にタッチする

2 ◀/▶にタッチするか▼をドラッグする

色と明るさが設定できます。



操作するとボタンの色が変わります。

3 メモにタッチする

基調を設定する

1 基調にタッチする



2 お好みの設定にタッチする



時計のデザインを設定する

1 時計にタッチする



2 お好みの設定にタッチする



「OFF」を選択すると、時計は表示されません。

オープニング画面を設定する

1 オープニング画面にタッチする



2 画像を選んでタッチする



プリセットの3種類か、USBメモリー内のオリジナル画像を選択して設定することができます。オリジナル画像の設定は「オリジナル画像を設定する」(→P53)をご覧ください。

オーディオを設定する

1 設定アイコンにタッチする



オーディオ設定画面が表示されます。

2 設定項目にタッチする



イコライザー	あらかじめ用意された5つの設定とお好みで調節した設定からイコライザーカーブを選ぶことができます。(→P56)
フェーダー/バランス	前後左右の音量バランスを設定できます。(→P57)
ミュート設定	音量をミュートするレベルを設定します。(→P57)
ソースレベルアジャスター	AVソースを切り換えたときに音量の違いが出ないように、FMの音量を基準にして各AVソースの音量の差をそろえることができます。(→P57)
リアスピーカー設定	接続するリアスピーカーの種類に合わせて、リアスピーカーの出力方法が設定できます。(→P58)

サブウーファー	サブウーファーを使用する場合はOnに設定します。(→P58)
スピーカー出力レベル	各スピーカーの出力レベルを調整します。(→P59)
カットオフ	各スピーカーの周波数帯域を設定します。(→P60)
サブウーファー設定	サブウーファーから出力される音の設定を行います。(→P58)
リスニングポジション	乗車位置や人数に合わせて、音響効果の中心位置を選択します。
タイムアライメント	スピーカーからリスニングポジションまでの距離を調整し、音声の到達時間を補正します。

ファクトリーカーブ	Super Bass	低音が厚みを持ち、迫力のある重低音が響きます。
	Powerful	低音と高音が厚みを持ち、アップテンポな曲がメリハリよく聞こえます。
	Natural	自然なバランスで、聞き疲れしない心地良い音を再生します。
	Vocal	中高音域が厚みを持ち、伸びやかなボーカルを際立たせます。
	Flat	音の補正をしません。設定したイコライザーカーブと交互に切り換えて、イコライザーの効果を確認するときにご使用ください。
	Custom1	AVソースごとに異なる調整値を登録して、Customメモリーから呼び出します。
Custom2	すべてのAVソースに共通の調整値を登録して、Customメモリーから呼び出します。	

イコライザーを設定する

あらかじめ用意された設定とお好みで調節した設定からイコライザーカーブを選びます。工場出荷時は「Flat」です。

1 イコライザーにタッチする



2 お好みの設定にタッチする



イコライザーを補正する

選んだファクトリーカーブを、各周波数ごとに細かくレベルを補正できます。補正した値は、**Custom1**に登録されます。

メモ

- **Custom2**を選んで行った補正値は、Custom2に登録されます。

1 ファクトリーカーブを選び、画面内をタッチする

2 補正する周波数をドラッグする



フェーダー/バランスを設定する

前後左右の音量バランスを設定します。
工場出荷時は「F/R 0 L/R 0」です。

メモ

- ・「リアスピーカー設定」がOffのときは「バランス」で左右のバランスが設定できます。

1 フェーダー/バランスにタッチする



2 ▲/◀/▶/▼にタッチして、前後左右の音量バランスを調整する

ポイントをドラッグして設定することもできます。



メモ

- ・デュアルスピーカーのときは、フロントとリアを0に設定してください。

ミュートレベルを設定する

接続した外部機器から音声ガイダンスが出力されたときに、本機のAVソースやアプリケーションの音声を自動的に調整することができます。

工場出荷時は「ATT」です。

1 ミュート設定にタッチする



2 レベルを選択する



ATT	音量を小さくします。
ミュート	音量を0にします。
Off	ミュートしません。

ソースレベルアジャスターを設定する

AVソースを切り換えたときに音量の違いが出ないように、FMの音量を基準にして各AVソースの音量の差をそろえます。

工場出荷時は「±0 dB」です。

メモ

- ・FMの音量を基準にUSB/iPod/AM/Bluetooth Audioとの音量を調節するため、FMを聞いているときは、ソースレベルアジャスターを設定することはできません。
- ・USB/iPod/AM/Bluetooth Audioそれぞれで登録されます。

1 ソースレベルアジャスターにタッチする



2 ▲/▼にタッチする



−4 dB ~ +4 dBの間で1 dBごとに調整できます。

リアスピーカーを設定する

接続するリアスピーカーの種類に合わせて、リアスピーカーの出力方法を設定します。工場出荷時は「On」です。

1 リアスピーカー設定にタッチする



タッチするごとに、On ↔ Off が切り換わります。

サブウーファーを設定する

サブウーファーから出力される音の設定を行います。

工場出荷時は以下のとおりです。

サブウーファー : 「Off」
 位相 : 「ノーマル」
 Level : 「0」
 カットオフ周波数 : 「80 Hz」

1 サブウーファーにタッチしてOnに設定する



2 サブウーファー設定にタッチする



カットオフ画面が表示されます。

3 </>にタッチしてスピーカーを選択する



4 LPFにタッチしてOnに設定する



5 サブウーファー出力の位相を選択する



フロント/リアスピーカーと同じ位相で出力するとき。



フロント/リアスピーカーと逆の位相で出力するとき。

6 グラフを左右にドラッグしてカットオフ周波数を設定する



50 Hz ~ 200 Hzの範囲で設定できます。

7 グラフのスロープをドラッグしてポイントを調整する



-6 dB/oct ~ -18 dB/octの間で調整できます。

メモ

- サブウーファーから出力される音の中には、フロント/リアスピーカーから出力される音と同じ周波数帯域のものが含まれています。車内条件により、これらの音の位相どうしが反転(干渉)すると、その周波数帯域が打ち消し合ってしまうことがあります。この現象を防ぐものが、サブウーファーの位相切り換えです。サブウーファーを固定したあとに、ノーマルまたはリバースどちらかを選んで、低音の音量が大きく感じられる方に設定してください。

設定

スピーカー出力レベル

各スピーカーの出力レベルを調整します。

1 スピーカー出力レベルにタッチする



2 </>でリスニングポジションを選択する



3 各スピーカーの</>にタッチして距離を調整する



カットオフ

各スピーカーの周波数帯域を設定します。

1 カットオフにタッチする

▼
カットオフ画面が表示されます。

「サブウーファーを設定する」(→P58)の手順3以降をご覧ください。

メモ

- 「サブウーファー」がOnに設定されているときは、サブウーファーのカットオフが設定できます。

リスニングポジションを設定する

乗車位置や人数に合わせて、音響効果の中心位置を選択します。

1 リスニングポジションにタッチする



2 位置を選択する



フロント	助手席に同乗者がいるときの設定です。
フロントL	左ハンドル車の運転席、または右ハンドル車の助手席を中心に設定します。
フロントR	右ハンドル車の運転席、または左ハンドル車の助手席を中心に設定します。
All	後部座席に同乗者がいるときの設定です。
Off	設定をOffにします。

タイムアライメントを設定する

スピーカーからリスニングポジションまでの距離を調整し、音声の到達時間を補正します。

メモ

- 「リスニングポジション」がフロントLまたはフロントRに設定されているときのみ設定できます。

1 各スピーカーから運転者・同乗者の頭の位置までの距離を測る

2 **タイムアライメント**にタッチする



3 **</>**でリスニングポジションを選択する



4 各スピーカーの**</>**にタッチして距離を調整する



0 cm ~ 500.0 cmの間で2.5 cm単位で切り換わります。

TA Off /	すべての設定が無効/有効にします。
TA On	

ビデオを設定する

1 **オーディオ**にタッチする



ビデオ設定画面が表示されます。

2 設定項目にタッチする



DivX設定	USBメモリーに記録されたDivX VODファイルを再生するときに必要な登録コードと登録解除コードを表示します。(→P62)
スライドショー設定	USBメモリーの画像ファイルを再生するときの表示間隔を設定します。(→P24) AVソースをUSBメモリーにしている画像を再生しているときだけ選択できます。
映像信号設定	AV/AUX入力の映像信号を設定します。(→P39)

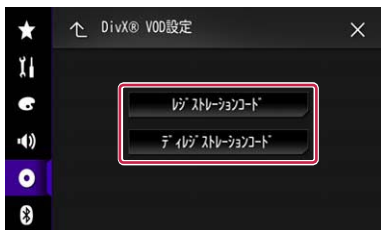
DivX® VODの登録コードを確認する

1 DivX設定 にタッチする



2 DivX® VOD設定 にタッチする

3 レジストレーションコードまたはディレジストレーションコードにタッチする



レジストレーションコード	本機でDivX VODファイルを再生するときに必要な10桁の登録コードです。
ディレジストレーションコード	8桁の登録解除コードです。

4 表示されたコードをメモする



コードはDivXファイルの提供者に登録するときに必要です。

メモ

- DivX VOD (Video On Demand) ファイルは、DRMコピープロテクションがかかっており、登録されたプレーヤーでのみ再生ができます。本機の登録コードが承認されていないDivX VODファイルは、本機で再生できません。
- 視聴回数が設定されているDivX VODファイルを再生したときは、残りの視聴回数が表示されます。

Bluetoothを設定する

ハンズフリーやBluetooth Audio機能を利用するためには、iPhoneやAndroidを本機にBluetoothで接続します。

1 設定メニューにBluetoothにタッチする



Bluetooth設定画面が表示されます。

2 設定項目にタッチする



機器登録/削除	Bluetooth接続する機器を本機に登録（ペアリング）します。（→P64） また、機器を2台以上登録したときは、手動で切り換えたり、削除ができます。（→P65）
自動接続	本機と機器の自動接続を設定できます。（→P65）
自機検出	自機検出の設定ができます。（→P66）
パスキー	本機のパスキーを変更できます。（→P66）
自機情報	本機の名称とBDアドレスを表示します。（→P66）

自動受話	かかってきた電話に自動応答するときはOnに設定します。（→P33）
Ring Tone	着信したときに車のスピーカーから着信音を出力するかどうか設定をします。（→P34）
姓名変更	電話帳を表示したときの姓・名の表示を名・姓に変更します。（→P34）
Bluetooth メモリアリア	Bluetooth設定の内容を消去できます。（→P67）
Bluetooth ソフトウェア アップデート	Bluetoothソフトウェアをアップデートする際に使用します。（→P67）
Bluetooth バージョン情報	Bluetoothのバージョン情報を表示できます。（→P67）

本機と接続可能な機器について

本機は、以下のBluetoothプロファイルに対応しています。

プロファイル名	用途
HFP (Hands Free Profile)	ハンズフリー通話
OPP (Object Push Profile)	電話帳転送
PBAP (Phone Book Access Profile)	電話帳同期
HSP (Headset Profile)	ヘッドセット通話
A2DP (Advanced Audio Distribution Profile)	オーディオデータ 転送
AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile)	AV機器のリモコン 機能

機器を登録する

メモ

- 最大3台の機器を登録できます。機器の切り換えかたは「機器を切り換える」(→P65)をご覧ください。

1 機器登録/削除 にタッチする



2 機器の Bluetooth 機能を On に設定し、本機からの検出が可能な状態にする

例：



3 検索 にタッチする



周辺の Bluetooth 機器を検索してリスト表示します。

メモ

- 機器の Bluetooth 機能が On になっていないと、画面に表示されません。

4 登録する機器にタッチする



ペアリングが成功すると、「登録が完了しました。」と表示されます。

ペアリングが完了すると、自動的に本機と機器との Bluetooth 接続が開始されます。

メモ

- 機器からパスキーを求められた場合は、本機に表示されている数字を入力してください。
- Bluetooth 対応機器を操作してペアリングすることもできます。

機器を切り換える

機器を複数台登録した場合は、切り換えて使用できます。

1 機器登録/削除にタッチする



2 切り換えたい機器にタッチする



選んだ機器に切り換わります。

機器を削除する

登録した機器の登録を削除します。

1 機器登録/削除にタッチする



2 削除する機器の - はい にタッチする



機器が削除されます。

自動接続を設定する

本機を起動したときに、自動的にBluetooth機器と接続します。

1 自動接続にタッチする



タッチするごとに、On ↔ Off が切り換わります。

メモ

- 本機を起動すると「Bluetoothの自動接続を再開しますか?」と表示されるので、**はい**にタッチします。

自機検出を設定する

Bluetooth対応機器から本機を検出できるようにします。

1 自機検出 にタッチする



タッチすることにより、On ↔ Off が切り替わります。

メモ

- 設定をOffにしても、Bluetooth機能は使用できます。

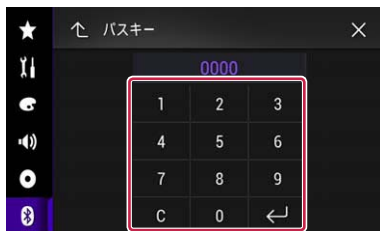
パスキーを設定する

本機のパスキーを設定できます。
工場出荷時は「0000」です。

1 パスキー にタッチする



2 パスキーを入力し、[C]にタッチする



メモ

- パスキーは、8桁まで入力できます。
- [C]にタッチすると、入力した番号を消去します。

自機情報を表示する

本機の自機名称やBDアドレスを確認できます。

1 自機情報 にタッチする



機器名称とBDアドレスが表示されます。



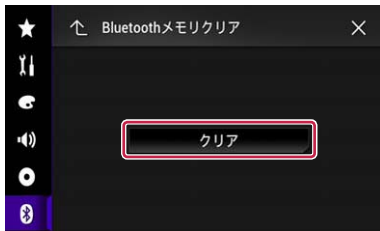
Bluetoothメモリをクリアする

ペアリング済み機器情報としてメモリーされたデータとPINコードを消去できます。

1 Bluetoothメモリクリアにタッチする



2 クリア - OK にタッチする



設定が初期化されます。

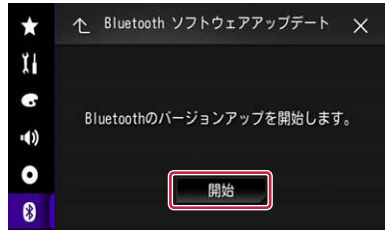
ソフトウェアをアップデートする

Bluetoothのバージョンアップを行います。

1 Bluetoothソフトウェアアップデートにタッチする



2 開始にタッチする



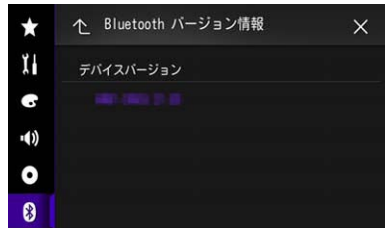
バージョンを確認する

Bluetoothのバージョンを確認します。

1 Bluetoothバージョン情報にタッチする



デバイスバージョンが表示されます。



再生できるファイルの種類

本機では、以下のファイルが再生できます。

	コーデック	拡張子
音楽	WMA	.wma
	MP3	.mp2/.mp3/.m2a/.mka
	AAC	.aac/.adts/.mka/.m4a
	WAV	.wav
	FLAC	.flac/.ogg
映像	MPEG-4	.avi/.mkv/.mov/.m4v/.3gp/.psp/.mp4/.flv
	MPEG-2	.vob
	H.264	.avi/.mkv/.mov/.m4v/.3gp/.psp/.mp4/.flv/.f4v
	WMV	.wmv/.asf
	MKV	.mkv/.mka/.mks/.mk3d
	Flash Video	.flv/.f4v/.f4p/.f4a/.f4b
	DivX	.divx/.avi
DivX HD	.mkv	
画像	JPEG	.jpg/.jpeg

メモ

- 作成したアプリケーションによっては、正常に動作しないことがあります。
- 作成したアプリケーションによっては、アルバム名などの楽曲情報が正しく表示されないことがあります。
- 雑音や故障の原因となりますので、異なるフォーマットのファイルに上記の拡張子を付けないください。
- WMAとは、「Windows Media Audio」の略で、米国Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮方式です。WMAデータは、Windows Media Player Ver. 7以降を使用してエンコードできます。
- MP3とは、「MPEG Audio Layer 3」の略で、音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。
- AACとは、「Advanced Audio Coding」の略で、MPEG2、MPEG4で使用される音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。
- WAVとは、「Waveform」の略で、Windowsでの標準音声フォーマットです。
- DRM（デジタル著作権管理）が設定されたファイルは、USBメモリーで再生できます。
- WMVのマルチビットレートファイルの再生は、動作保証外です。

音声コーデックについて

コーデック	サンプリング周波数	ビットレート		量子化ビット数
		CBR	VBR	
WMA	8 kHz ~ 48 kHz	5 kbps ~ 320 kbps	48 kbps ~ 320 kbps	16 bit
MP3		8 kbps ~ 320 kbps		
AAC				
WAV	16 kHz ~ 48 kHz	-		8 bit/16 bit

メモ

- 本機では、Windows Media Player Ver 7/8/9を使用してエンコードしたWMAファイルを再生できます。
- 以下の形式には対応していません。
 - Windows Media Audio 9 Professional (5.1 ch)
 - Windows Media Audio 9 Lossless (可逆圧縮)
 - Windows Media Audio 9 Voice
- ID3タグのalbum (ディスクタイトルとして表示)、title (トラックタイトルとして表示)、artist (アーティストとして表示)の表示に対応しています。
- 対応可能なID3タグのバージョンは1.0、1.1、2.2、2.3、2.4です。なお、ID3タグのVer.1.XとVer. 2.Xが混在している場合は、Ver.2.Xが優先されます。
- m3uのプレイリストには対応していません。
- MP3 (i MP3 interactive) フォーマット、およびMP3 PROフォーマットには対応していません。
- 本機では、Windows版のiTunesを使用してエンコードされたAACファイルの再生に対応しています。
- 画像データを含むWMA/AACファイルを再生する場合、再生が始まるまでに時間がかかることがあります。
- AACファイルをライティングしたiTunesのバージョンによっては、ファイル名などの文字情報が正しく表示されなかったり、正しく再生されないことがあります。
- 本機は、LPCM形式でエンコードされたWAVファイルの再生に対応しています。
- 表示されるサンプリング周波数の桁は、すべてではないことがあります。

映像コーデックについて

コーデック	プロファイル	最大解像度 @最大フレームレート	最大ビットレート (平均値/ピーク値) ^{*1}
MPEG-4 Video	Advanced Simple Profile	720×480@30 fps	4 Mbps/8 Mbps
H.264/AVC	Baseline Profile		2 Mbps/4 Mbps
WMV(VC-1)	Simple Profile		384 kbps
DivX	Home Theater Ver. 3.11/Ver.4.x/ Ver. 5.x/Ver. 6.x	720 pixel × 576 pixel	8 kbps/320 kbps

^{*1} 再生可/不可は、平均ビットレートで判断

故障かな？と思ったら

修理を依頼する前に、以下の内容をチェックしてください。チェックしても直らないときは、販売店にご相談ください。

共通項目

症状	原因	処置
電源が入らない、動作しない。	エンジンがかかっていない。	エンジンまたはACCをONにしてください。
	ヒューズが切れている。	切れたヒューズを同じ容量のヒューズと交換してください。
	接続ケーブルが正しく接続されていない。	付属の『取扱説明書』をよく読み、接続ケーブルが正しく接続されているかご確認ください。
	周囲の温度が極度に低いまたは高い。	本機には、使用温度範囲（-10℃～+60℃）があります。使用温度範囲になるまで、エアコンなどで温度を調節してください。
	ノイズなどが原因で内蔵のマイコンが誤動作している。	販売店またはパイオニアカスタマーサポートセンターにご相談ください。（→裏表紙）
画面に何も表示されない。	AVソースがOFFになっている。	AVソースを選択してください。（→P10）
画質調整ができない。	パーキングブレーキをかけていない。	パーキングブレーキをかけてください。
液晶画面が暗い・見にくい。	「明るさ」の調整が適切ではない。	「明るさ」を調整してください。→「画質を調整する」(P48)
画面に小さな黒い点や明るく光る点がある。	液晶特有の現象で、故障ではありません。	—
画面の残像が目立ったり、画質が劣化して見える。	周囲の温度が低い。	周囲の温度が高まると通常画質に戻ります。
タッチキーの表示が薄く、タッチしても反応しない。	走行規制などで、走行中は操作できないタッチキーです。	車を安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけてから操作してください。
	設定や接続状況などにより、操作できないタッチキーです。	設定や接続状態を確認してください。
映像/画像が見られない。	走行中である。	本機は、安全のため走行中にフロントモニターで映像/画像を見ることはできません。映像/画像をご覧になる場合は、安全な場所に停車してパーキングブレーキをかけて、お楽しみください。
	パーキングブレーキコードを接続していない。	付属の『取扱説明書』をよく読み、パーキングブレーキコードを接続してください。
音が出ない。	オーディオの音量が0になっている。	音量を調整してください。
	接続が間違っている。	付属の『取扱説明書』をよく読み、接続を確認してください。

症状	原因	処置
スピーカーから音が出ない。	前後左右の音量バランスの調整が適切でない。	正しく調整・設定してください。 →「フェーダー/バランスを設定する」(P57)
映像がギザギザに表示される。	ワイド画面特有の現象で、故障ではありません。 ファイルの縦横比と表示モードが合っていない。	表示モードを変更してください。→「ワイドモードを設定する」(P23)
iPhone端末が充電されない。	iPhone端末を充電しながら長時間使用したため、端末の温度が上がり、充電が停止している。 充電よりも電池の消費量が多い。	iPhoneをケーブルから外し、端末の温度が冷めるまでお待ちください。 iPhoneの不要なサービスを停止すると改善される場合があります。

Apple CarPlay

症状	原因	処置
Apple CarPlayのアイコンが表示されない。	接続ケーブルが正しく接続されていない。	正しく接続されているかご確認ください。→付属の『取扱説明書』
アプリケーション操作ができない。	USBポート2に接続している。	Apple CarPlayはUSBポート1に接続したiPhoneでしか使用できません。

ラジオ

症状	原因	処置
ラジオ受信中にジージー、ザーザー”という雑音が多い。	放送局の電波が弱い。 周りに障害物があるなど、受信状態が良くない。	他の放送局を選局してみてください。→「放送局を登録する」(P17) 受信状態が良くなると、雑音も少なくなります。
自動選局できない。	強い電波の放送局がない。	手動で選局してください。→「放送局を手動で登録する」(P17)

USBメモリー

症状	原因	処置
音楽/映像/画像が再生できない。	ファイルに拡張子が付いていない。 対応していないビットレートで記録されている。	各ファイル形式に対応した正しい拡張子を付けてください。 対応しているビットレートで記録されたファイルにしてください。
ファイル再生中に大きな雑音が出る。	ファイルの形式と拡張子が合っていない。	USBメモリーを交換してください。 異なるフォーマットのファイルに「.wma」などの本機が対応するファイルの拡張子を付けなくてはいけません。

症状	原因	処置
再生したいファイルが見つからない。	ファイルに拡張子が付いていない。	各ファイル形式に対応した正しい拡張子を付けてください。
再生が記録した順と異なる。	ファイルは、記録したときの順番どおりに再生されない場合があります。	フォルダー名、ファイル名のはじめに数字(01、02など)を付けることにより、再生順を指定できる場合があります。
音が出ない。	画像、スロー、コマ送り再生中である。	画像、スロー、コマ送り再生中に、音声を聞くことはできません。

iPod

症状	原因	処置
再生できない。	ケーブルが正しく接続されていない。	付属の『取扱説明書』をよく読み、接続ケーブルが正しく接続されているかご確認ください。
	お使いのiPodが本機に対応していない。	対応iPodについては、カロッツェリアホームページ (http://carrozzeria.jp) でご確認ください。
	何らかの原因で本機とiPod間の通信が成功していない。	ACCをOFF→ONするか、iPodを本機から取り外してiPodが問題なく動作していることを確認してから再接続してください。
ビデオが再生できない。	接続しているiPodがビデオ機能に対応していない。	ビデオ機能に対応したiPodでないと、ビデオはご覧になれません。
	LightningケーブルでiPodを接続している。	付属の『取扱説明書』をよく読み、別売のオプションケーブル(CD-IUV51M)を使用してAUX端子に接続してください。

Bluetooth

症状	原因	処置
Bluetoothで接続できない。	Bluetooth機器登録をしていない。	接続したい機器を本機に機器登録してください。→「 機器を切り換える 」(P65)
	接続する機器を変えた。	接続したい機器に切り換えてください。→「 Bluetoothを設定する 」(P63)
	Apple CarPlayになっている。	Apple CarPlay中はBluetooth接続できません。
	HFP接続ができない。	車のエンジンスイッチをOFF→ON(ACC OFF→ON)してください。 本機に登録済みの機器をいったん削除し、もう一度登録・接続を行ってください。

エラーメッセージと対処方法

共通項目

エラーメッセージ	原因	処置
安全のため、運転者は走行中に操作しないでください。	走行規制のかかった操作を行おうとした。	車を安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけてから操作してください。
アンプエラー	スピーカーの接続状態または本機に異常があり、保護回路が動作した。	スピーカーの接続状態をご確認ください。 エンジンスイッチをOFF→ONしてもメッセージが消えない場合は、販売店またはパイオニアカスタマーサポートセンターにご相談ください。
高温を検出したためシステムを停止します。	本機内が高温になった。	ACCをOFFにし、しばらくしてからONにしてください。
デバイスがありません	選択したAVソースに機器が接続されていない。	USBメモリーなどを接続してください。
パスワードが間違っています。入力しなおしてください。	入力したパスワードが間違っている。	正しいパスワードを入力してください。
パスワードの読み込みに失敗しました。	パスワードの読み込みに失敗した。	販売店またはパイオニアカスタマーサポートセンターにご相談ください。(→裏表紙)

GPS

エラーメッセージ	原因	処置
測位不能になりました。お買上げの販売店またはパイオニア修理受付窓口にご相談ください。	GPSの測位ができない。	販売店またはパイオニアカスタマーサポートセンターにご相談ください。(→裏表紙)
GPSアンテナが接続されていません。接続を確認してください。	GPSアンテナが正しく接続されていない。	付属の『取扱説明書』をよく読み、正しく接続されているかご確認ください。
GPSアンテナが異常です。お買上げの販売店またはパイオニア修理受付窓口にご相談ください。	GPSアンテナに異常がある。	販売店またはパイオニアカスタマーサポートセンターにご相談ください。(→裏表紙)

Apple CarPlay

エラーメッセージ	原因	処置
Apple CarPlay との通信を試み ています。	Apple CarPlay との通信が切 断された。 Apple CarPlay の起動に失敗 した。	復帰しない場合は Lightning ケー ブルを外して iPhone を接続しな おしてください。

USBメモリー

エラーメッセージ	原因	処置
再生できないUSBです	本機が対応していないUSBメモ リーを接続した。	別のUSBメモリーを接続してみ てください。
再生できないファイルです	本機が対応していないファイ ルを選択した。	再生できるファイルを選択して ください。(→P68)
過電流保護の為、USB1(USB2) の接続を中止しました。 他のUSB機器を使用するには アプリユニットの電源を入れ直 してください。 今後そのUSB機器を本機に接 続しないでください。	USBケーブルまたはUSBメモ リーの回路に異常があった。	本機の電源を入れ直し、他のUSB メモリー / ケーブルを接続してく ださい。 そのUSBメモリー / ケーブルは、今 後本機に接続しないでください。

iPod

エラーメッセージ	原因	処置
接続に失敗しました	接続が失敗した。	ケーブルを外して接続しなおし てください。
見つかりません	リンクサーチが失敗した。	他の曲で実行してください。

Bluetooth

エラーメッセージ	原因	処置
デバイスがありません	ハンズフリー通話ができない。	接続しなおすか、別の機器を接続 してください。
登録に失敗しました。	ペアリングが失敗した。	再度登録をしてください。
サービスなし	Bluetooth機器が接続されて いない。	機器をBluetoothで接続してく ださい。

ステアリングリモコン

エラーメッセージ	原因	処置
このステアリングリモコンは利用できません。 ご利用のステアリングリモコンは対応していません。	本機が対応していないステアリングリモコンを使用している。	本機が対応しているステアリングリモコンを使用してください。

ファームウェアバージョンアップ

エラーメッセージ	原因	処置
USBメモリーを確認し、再度接続してください	USBメモリーを接続していない。 USBポート2に接続している。	バージョンアップの際は、USBポート1にUSBメモリーを接続してください。
バージョンアップファイルエラー ファイルフォーマットエラー	ファイルが正しくない。	本機に対応したバージョンアップファイルをダウンロードしてください。
USBメモリー内のデータの読み取りに失敗しました。	バージョンアップファイルの読み取りができない。	バージョンアップファイルは、USBメモリーの直下に1つだけ保存し、それ以外のファイルは保存しないでください。
USBメモリーにバージョンアップファイルをつだけ保存してください。	バージョンアップファイルが複数保存されている。	最新のバージョンアップファイルをダウンロードしてください。
ファイルバージョンエラー ファイルのバージョンを確認し、再度接続してください。	ファイルのバージョンが古い。	最新のバージョンアップファイルをダウンロードしてください。
USBメモリー内のデータが壊れています。 USBメモリーを確認し、再度接続してください。	ファイルが使用できない。	バージョンアップファイルのダウンロードをやりなおしてください。
不明なエラーが発生しました。	原因不明のエラー	販売店またはパイオニアカスタマーサポートセンターにご相談ください。(→裏表紙)

索引

用語索引

五十音順

あ行

明るさ	48
アップデート	67
イコライザーカーブ	22, 56
イルミネーション	50, 53
色合い	48
色温度	48
色の濃さ	48
映像	19, 70
映像信号設定	39
エコー（残響音）	38
オーディオ設定	55
オープニング画面	55
オーディオブック	29
音声	69
音声認識機能	14, 38

か行

外部機器	39
拡張子	68
画質調整	48
カスタムメニュー	43
画像	19
カットオフ	60
壁紙	52
カメラ極性設定	41
カレンダー	13
機器登録	64
基調	54
黒の濃さ	48
コーデック	68, 69, 70
コントラスト	48

さ行

サウンドレトリバー	23
サブウーファー	58
サンプリング周波数	69
自機検出	66
自機名称	66
システム情報	49
システム設定	44
自動応答	33

自動接続	65
シャッフル再生	28
初期化	47
ステアリングリモコン設定	46
スピーカー出力レベル	59
スライドショー	24
姓名変更	34
セキュリティ	51
設定	43
設定初期化	47
操作音	45
ソースレベルアジャスター	57
測位状態	50

た行

タイトルスクロール	44
タイムアライメント	60
タイムバーサーチ	23
着信音	34
駐車アシスト線	42
ディレクションコード	62
デザイン設定	52
デモモード	45
電話	
受けかた	35
かけかた	35
電話帳	36
登録	
ラジオ放送局	17
時計	54
ドライビングポジション	15
取り付け状態	49

な行

入力/出力設定	39
---------	----

は行

バージョン情報	67
パスキー	66
パスワード設定	51
バックカメラ	41
バック信号	50
発着信履歴	36
バランス	57
ハンズフリー	33

バンド	17
ビットレート	69
ビデオ	27
ビデオ信号	39
ビデオ設定	61
ファームウェア情報	49
ファームウェアバージョンアップ	50
ファイル検索	21
ファイルの種類	20, 68
フェーダー	57
フラッシュパターン	45
プリセットダイヤル	37
プリセットリスト	17
フレームレート	70
プロファイル	63, 70
ペアリング	64
放送局名	18
補正(イコライザー)	56

ま行

ミュート設定	57
メニュー	43
メモリクリア	67

ら行

ラジオ	16
ランダム再生	22
リアスピーカー設定	58
リアモニター	12
リジューム再生	20
リストバー	9
リスニングポジション	60
リピート再生	21
量子化ビット数	69
リンクサーチ	19
レジストレーションコード	62

わ行

ワイドモード	23
--------	----

数字・アルファベット順・記号**A**

A2DP	30
AAC	68
Android	33
Apple CarPlay	14
AUX入力	39
AVRCP	30
AVソース	10
AVソース設定	45
AV入力	39
AVプロファイル	30

B

Bluetooth	
設定	63
プロファイル	63
メモリクリア	67
Bluetooth Audio	30
BSM	16

D

DivX	68
DivX設定	62

F

FLAC	68
Flash Video	68
Flat	56
Full	24

G

GPSアンテナ	49
---------	----

H

H.264	68
HFP (Hands Free Profile)	63
HOME画面	10
HSP (Headset Profile)	63

I

iPod	27
------	----

J

JPEG	68
------	----

L		
LPF		59
M		
MIXTRAX		25
MKV		68
MP3		68
MPEG		68
N		
Natural		56
Normal		24
NTSC		40
O		
OPP (Object Push Profile)		63
P		
PAL		40
PAL-M		40
PAL-N		40
PBAP (Phone Book Access Profile)		63
Powerful		56
R		
Ring Tone		34
S		
S.Bass		56
SECAM		40
S.Rtrv		23
U		
USBメモリー		19
V		
Vocal		56
W		
WAV		68
WMA		68
WMV		68
Z		
Zoom		24

<各窓口へのお問い合わせ時のご注意>

「0120」で始まる **フリーコール** および **フリーコール** は、携帯電話・PHS:一部のIP電話などからは、ご使用になれません。

また、【一般電話】は、携帯電話・PHS・IP電話などからご利用可能ですが、通話料がかかります。

正確なご相談対応のために折り返しお電話をさせていただく場合がございますので発信者番号の通知にご協力いただけますようお願いいたします。

ご相談窓口のご案内 ※番号をよく確かめの上でおかけいただきますようお願いいたします

パイオニア商品の修理・お取り扱い（取り付け・組み合わせなど）については、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。

商品についてのご相談窓口 ● 商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求について

カスタマーサポートセンター（全国共通フリーコール）

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00 土曜 9:30～12:00、13:00～17:00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

■ カーオーディオ／カーナビゲーション商品

電話 **フリーコール 0120-944-111** 【一般電話】 **044-572-8101**

ファックス **044-572-8103**

インターネットホームページ <http://pioneer.jp/support/>

※商品についてよくあるお問い合わせ・お客様登録など

修理窓口のご案内 ※番号をよく確かめの上でおかけいただきますようお願いいたします

修理をご依頼される場合は、取扱説明書の「故障かな?と思ったら」を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。

それでも正常に動作しない場合は、① 型名、② ご購入日、③ 故障症状を具体的にご連絡ください。

修理についてのご相談窓口 ● お買い求めの販売店に修理の依頼ができない場合

修理受付窓口

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00 土曜 9:30～12:00、13:00～17:00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

電話 **フリーコール 0120-5-81028** 【一般電話】 **044-572-8100**

ファックス **フリーコール 0120-5-81029**

インターネットホームページ <http://pioneer.jp/support/repair/>

※家庭用オーディオ／ビジュアル商品はインターネットによる修理のお申し込みを受付けております

部品のご購入についてのご相談窓口 ● 部品（付属品・リモコン・取扱説明書など）のご購入について

部品受注センター

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00 土曜 9:30～12:00、13:00～17:00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

電話 **フリーコール 0120-5-81095** 【一般電話】 **044-572-8107**

ファックス **フリーコール 0120-5-81096**

記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。

VOL.049

パイオニア株式会社

〒212-0031

神奈川県川崎市幸区新小倉1番1号

© パイオニア株式会社 2014

< KOKZ141 > < CWW9027-C >